

令和5年度 文化芸術に関する 市民アンケート調査結果

相模原市役所
市民局 文化振興課

<調査概要>

【目的】

令和5年度が第3次さがみはら文化芸術振興プランの計画期間中間年に該当することから、同プラン策定以降の文化芸術振興に関する市民の意識や活動状況等を把握し、今度の取組を検討する基礎資料とするもの。

【調査の設計】

(1) 調査対象

16歳以上の市内在住者

(2) 対象人数

3,000人

(令和5年6月1日時点の全市人口に対する各区の人口比で抽出)

(3) 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出(外国人含む)

(4) 調査方法

LOGOフォームによるWEBアンケート

(QRコード付きはがき送付－電子回答 ※督促なし)

※WEB上での回答が困難な方はアンケート用紙を送付－17件回答

(5) 調査期間

令和5年9月1日(金)から9月22日(金)まで

【回答数(率)】

482件(16.1%)

※同様のWEBアンケート調査例


➡令和4年度相模原市総合計画の進行管理に係る市民アンケート 1,874件/12,000人(15.6%)

令和5年度文化芸術に関する市民アンケート
調査へのご協力について(お願い)

日頃より、本市の市政運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。このアンケートは、市民の皆様が文化芸術活動などの実態や考えについて、現状を把握することを目的に調査を行い、今後の市の施策に反映することを目的に行います。

回答方法：次の中からお選びください。

①PC・スマートフォン・タブレットによる回答
【URL】
<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/~.html>

【QRコード】
 アンケートは10分程度で
ご回答いただけます！

②紙による回答
希望の方には、【紙の調査票】を郵送いたしますので、
【042-770-7777】に令和5年9月14日(木)までにご連絡ください。
*ご本人様が回答するのが難しい場合は、ご家族の方(16歳以上)がお答えいただいても差し支えございません。

<回答期限：令和5年9月22日(金)まで>
お忙しいところ恐縮ですが、ご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】*簡単な問い合わせはこちら
相模原市コールセンター TEL.042-770-7777
(午前8時～午後9時 年中無休)

送付はがき裏面



<調査結果>

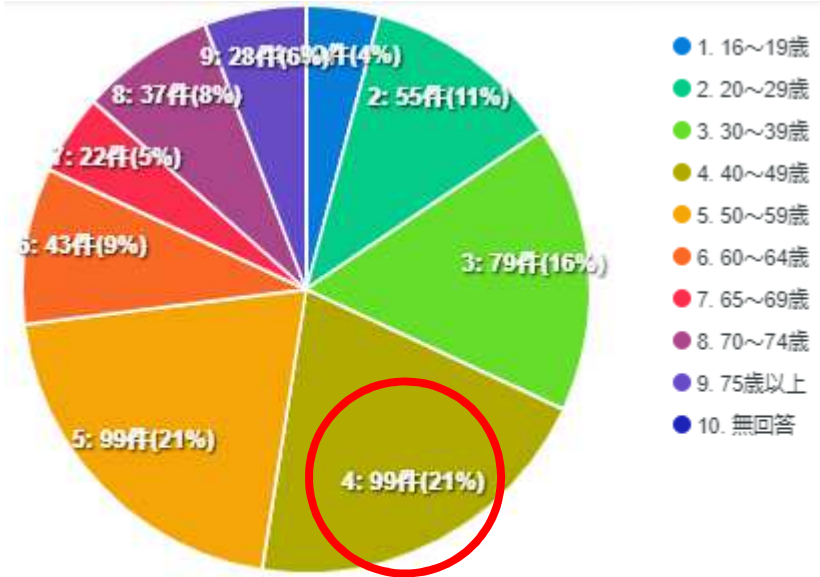
A : 基本属性



F1:年齢を教えてください。(○は1つだけ)

➡「40～49歳」と「50～59歳」が21%と最も多く、
次いで「30～39歳」が16%となっている。

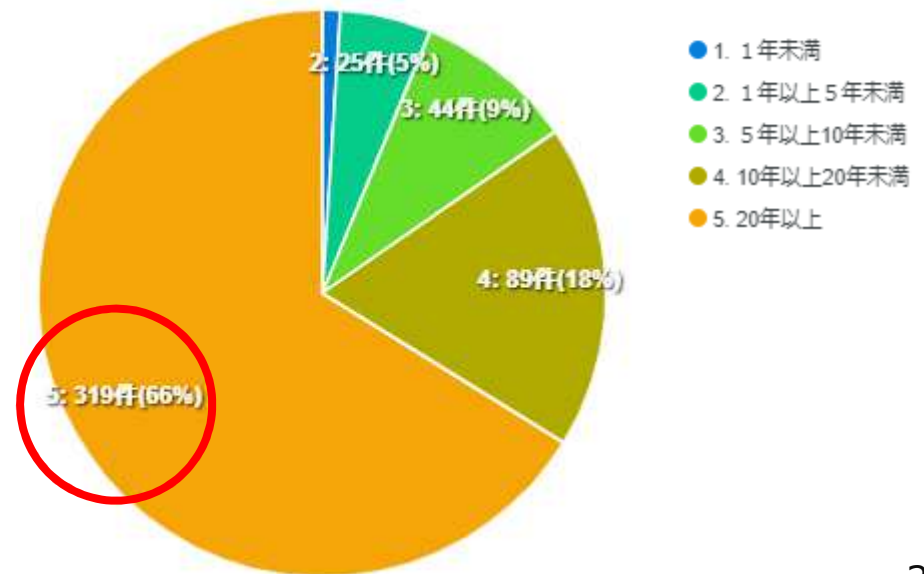
※前回調査時 → 「60～69歳」が最多の19.9%



F2:相模原市に住んで何年になりますか。
(○は1つだけ)

➡「20年以上」が66%と最も多く、次いで
「10年以上～20年未満」が18%となっている。

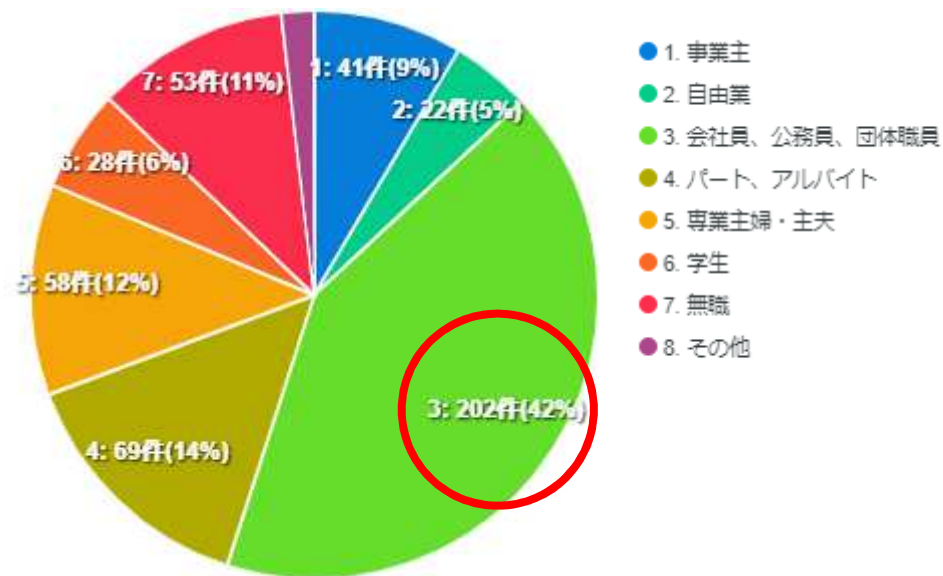
※前回調査時 → 「20年以上」が最多の63.3%



F3:職業を教えてください。(○は1つだけ)

➡「会社員、公務員、団体職員」が**42%**と最も多く、次いで「パート、アルバイト」が**14%**となっている。

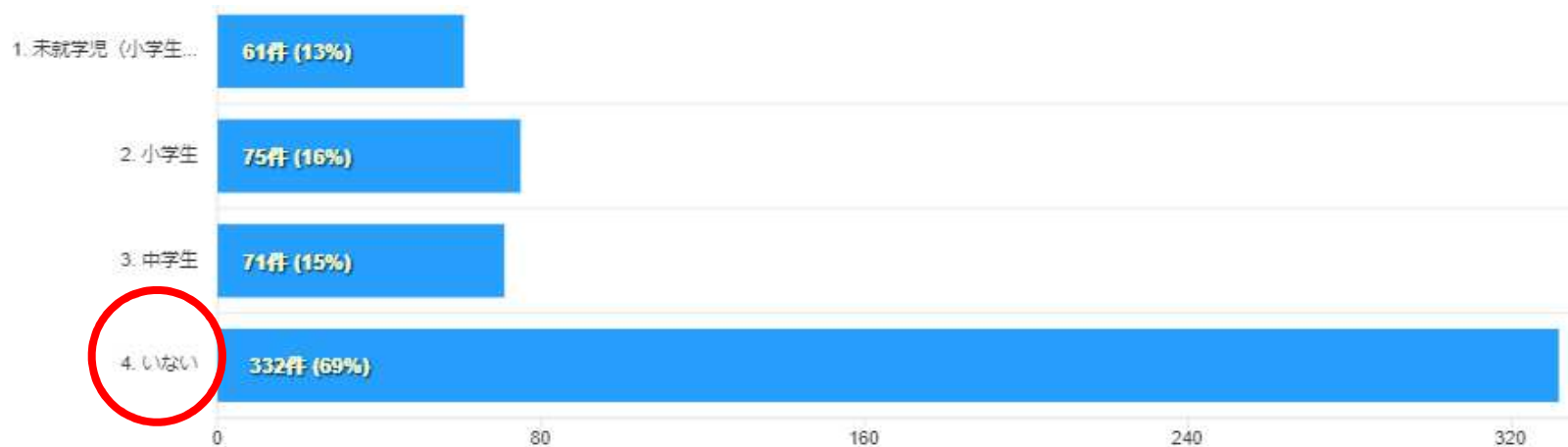
※前回調査時
→「会社員、公務員、団体職員」が最多の**32.4%**



F4:16歳未満のお子さんがいらっしゃいますか。【複数選択可】(○は1つだけ)

➡「いない」が**69%**と最も多く、次いで「小学生」が**16%**となっている。

※前回調査時 →「いない」が最多の**78.3%**



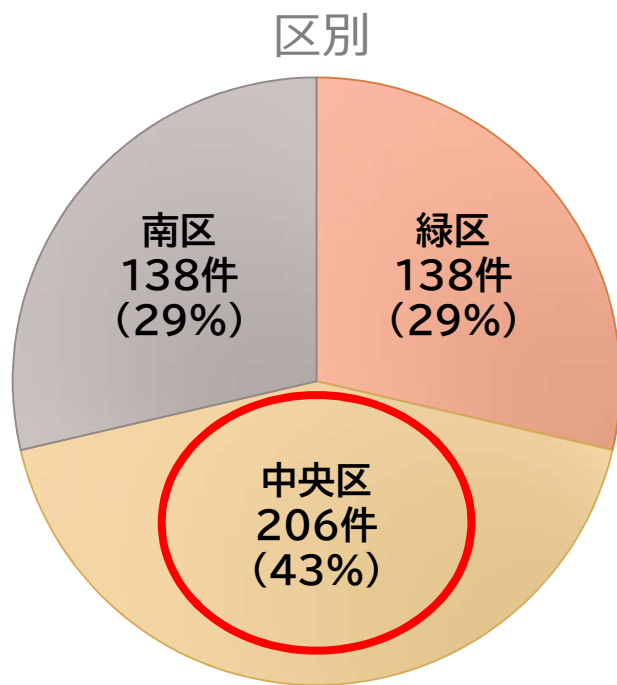
F5:お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つだけ)

➡区別にみると、「中央区」が**43%**で最も多く、「緑区」と「南区」が**29%**となっている。

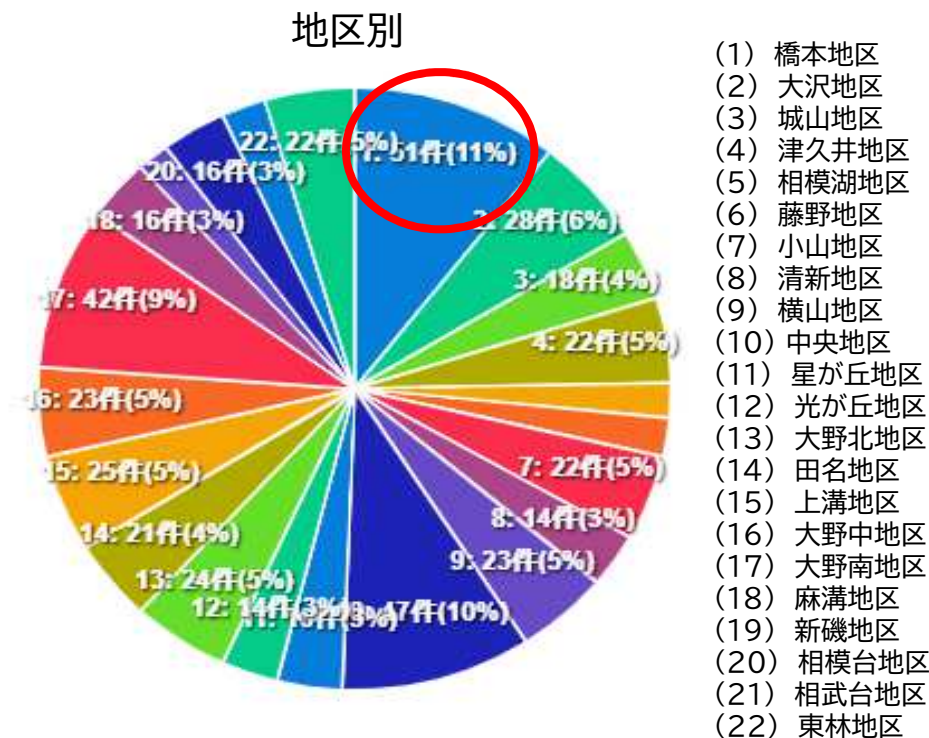
※前回調査時 → 「南区」が最多の**38.0%**、「中央区」が**36.9%**、「緑区」が**23.7%**

➡地区別にみると、「橋本地区」が**11%**と最も多く、次いで「中央地区」が**10%**、「大野南地区」が**9%**となっている。

※前回調査時 → 「大野南地区」が最多の**12.4%**、「橋本地区」が**9.8%**、「中央地区」が**8.5%**



■緑区 ■中央区 ■南区 ■



- (1) 橋本地区
- (2) 大沢地区
- (3) 城山地区
- (4) 津久井地区
- (5) 相模湖地区
- (6) 藤野地区
- (7) 小山地区
- (8) 清新地区
- (9) 横山地区
- (10) 中央地区
- (11) 星が丘地区
- (12) 光が丘地区
- (13) 大野北地区
- (14) 田名地区
- (15) 上溝地区
- (16) 大野中地区
- (17) 大野南地区
- (18) 麻溝地区
- (19) 新磯地区
- (20) 相模台地区
- (21) 相武台地区
- (22) 東林地区



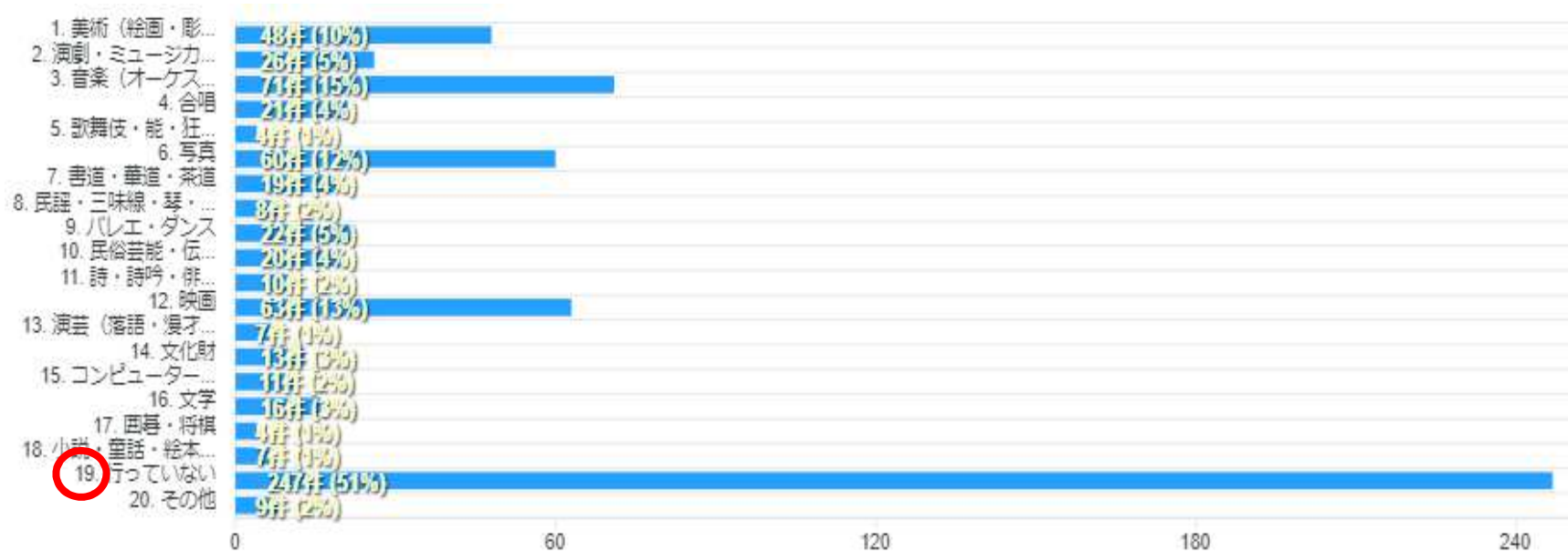
B : 文化的な活動の状況



問1 現在、創作活動や実演のほか施設巡りなどの「文化的な活動(鑑賞を除く)」を行っていますか。行っている分野を選択してください。【複数選択可】

→文化活動の状況としては、「行っていない」が**51%**と最も多く、次いで「音楽(オーケストラ・軽音楽など)」が**15%**、「映画」が**13%**となっている。

※前回調査時 → 「携わっていない」が最多の**50.1%**、「映画」が**27.3%**、「音楽(オーケストラ・ロック・ポップス・ジャズ・歌謡曲など)」が**24.1%**、「美術(絵画・彫刻・工芸(金工・陶芸・ガラス・織り・染色)など)」が**17.8%**

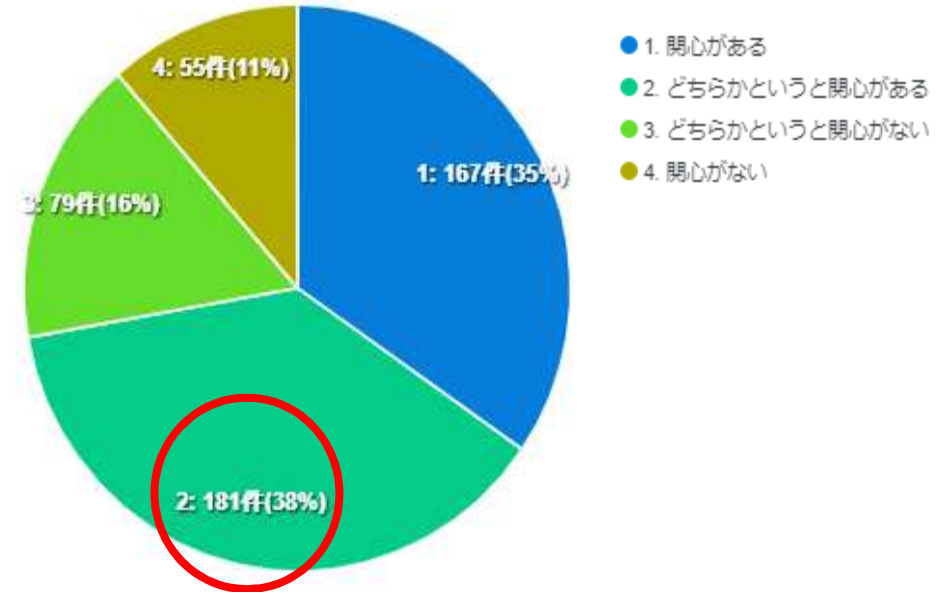


《年代別傾向》
 ・いずれの年代も「行っていない」と「美術」が上位
 ・10代、20代は「バレエ・ダンス」や「音楽」が上位

年代	1位	2位	3位
10代	行っていない(35%)	バレエ・ダンス(17%)	音楽、合唱、美術(13%)
20代	音楽、行っていない(22%)	美術(20%)	バレエ・ダンス(9%)
30代	美術(28%)	行っていない(27%)	写真(14%)
40代	行っていない(38%)	美術(15%)	演劇・ミュージカルなど(13%)
50代	行っていない(41%)	美術(14%)	音楽(11%)
60代	行っていない(46%)	美術(22%)	映画、写真(5%)
70代以上	行っていない(43%)	合唱(15%)	美術(11%)

問2 文化的な活動に関心を持っていますか。
(○は1つだけ)

- ➡「どちらかというに関心がある」が**38%**ともっとも多く、次いで「関心がある」が**35%**となっている。
- ➡“関心がある”(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)が**73%**、“関心がない”(「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計)が**27%**



※前回調査時

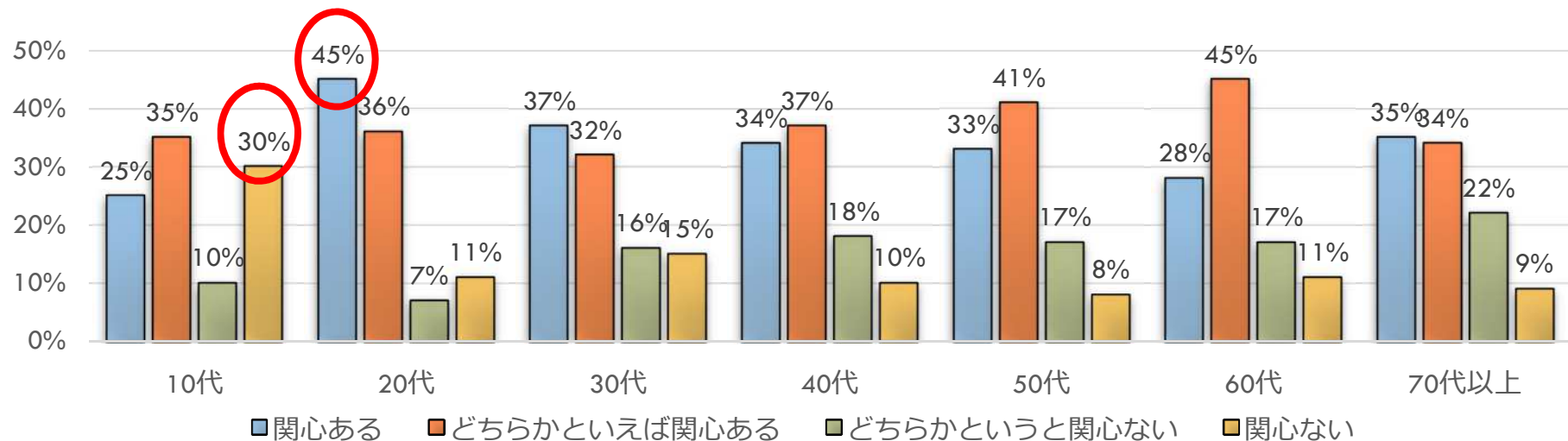
→ “関心がある”が最多の**60.7%**、“関心がない”が**37.4%**

《年代別傾向》

○：“関心がある”と回答した割合が最も高かったのは**20代**

○：“関心がない”と回答した割合が最も高かったのは**10代**

○：どの年代も“関心がある”(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)が、“関心がない”(「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計)と回答した割合を上回っている

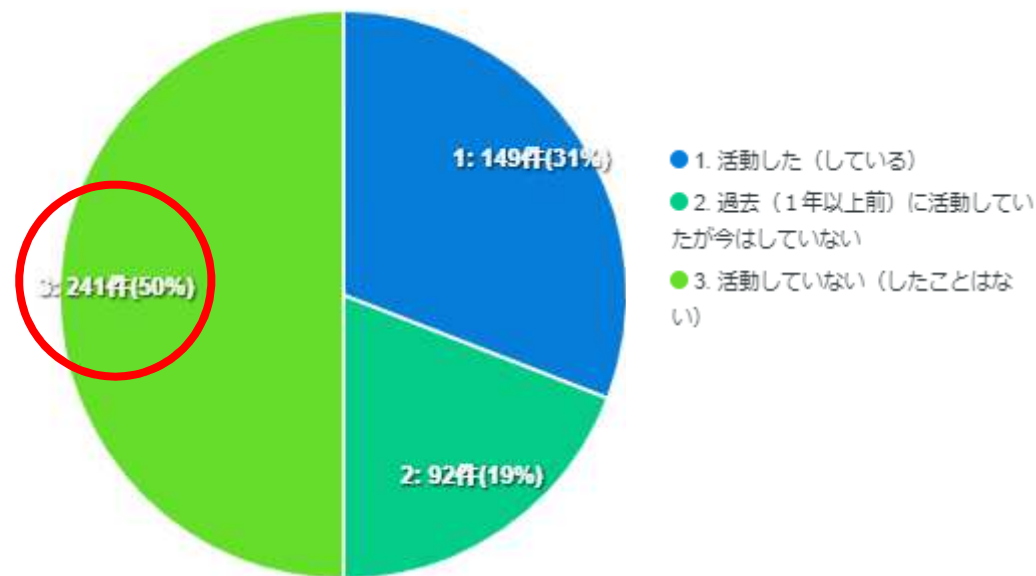


問3 過去1年間で文化的な活動をしましたか。
(○は1つだけ)

→「活動していない(したことはない)」が
50%と最も多く、次いで「活動した
(している)」が**31%**となっている。

※前回調査時

→「活動したことはない」が最多の**68.1%**
「活動している」が**18.7%**

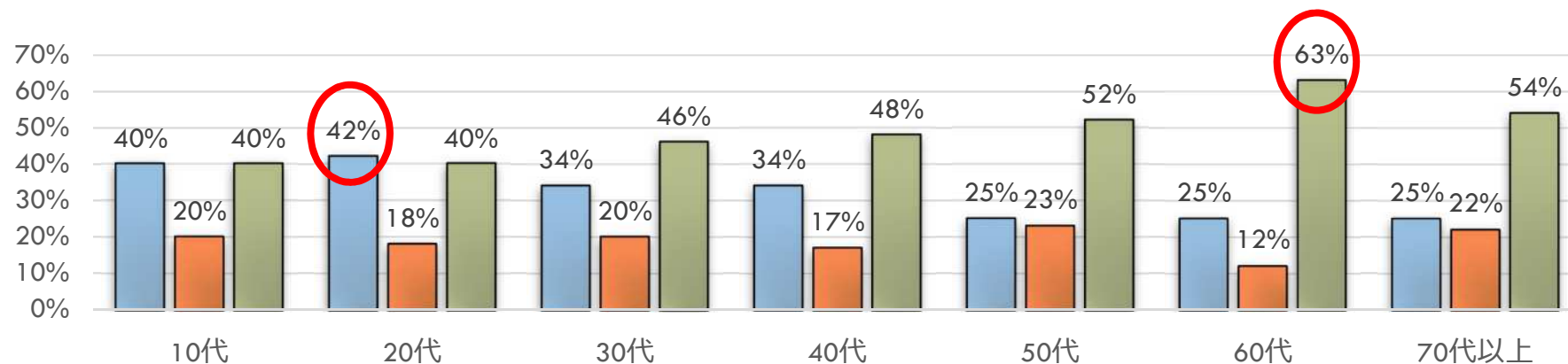


《年代別傾向》

○:「活動した(している)」と回答した割合が最も高かったのは**20代**

○:“活動していない(したことはない)”と回答した割合が最も高かったのは**60代**

○:どの年代も**40%**以上が文化的な活動をしていない



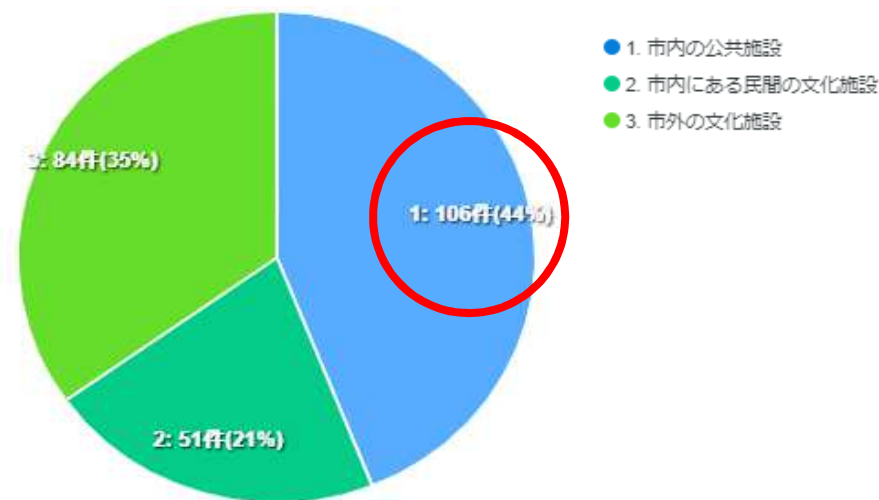
■活動した (している)

■過去 (1年以上前) に活動していたが今はしていない

■活動していない (したことはない)

問4 問3で「(1)」「(2)」を選択した方に伺います。
 文化的な活動をするために主に利用する(し
 ていた)施設を選択してください。
 (〇は1つだけ)

➔「市内の公共施設」が44%と最も多く、
 次いで「市外の文化施設」が35%となっている。

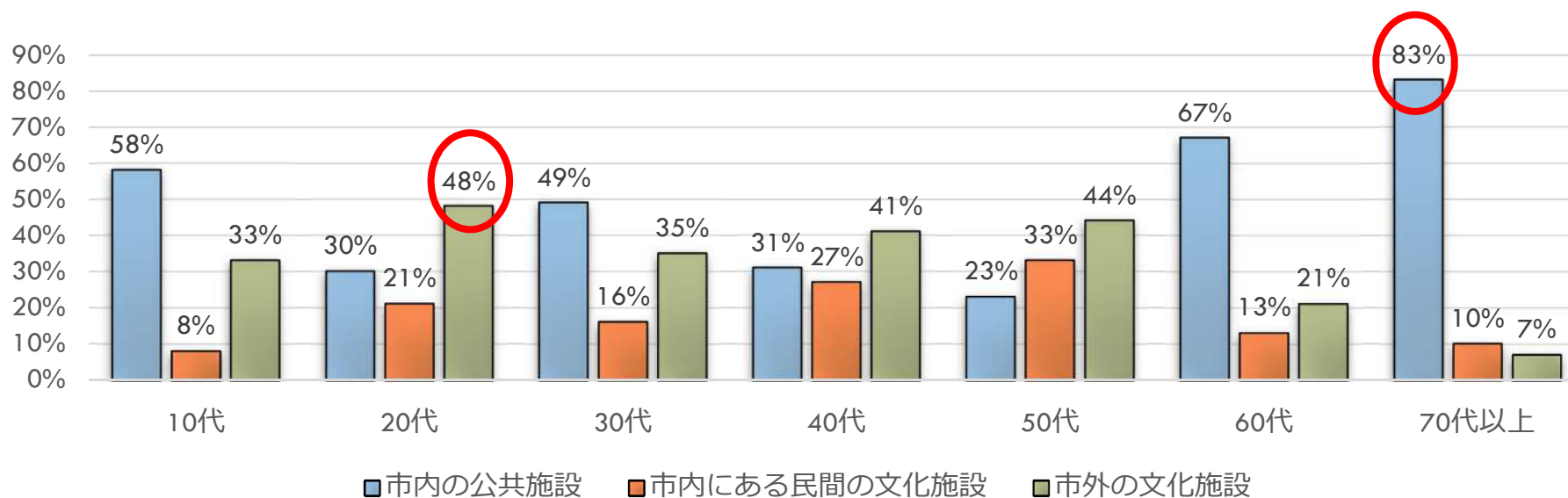


※前回調査時

→「市内の公共施設」が最多の**46.7%**
 「市外の文化施設」が**26.8%**

《年代別傾向》

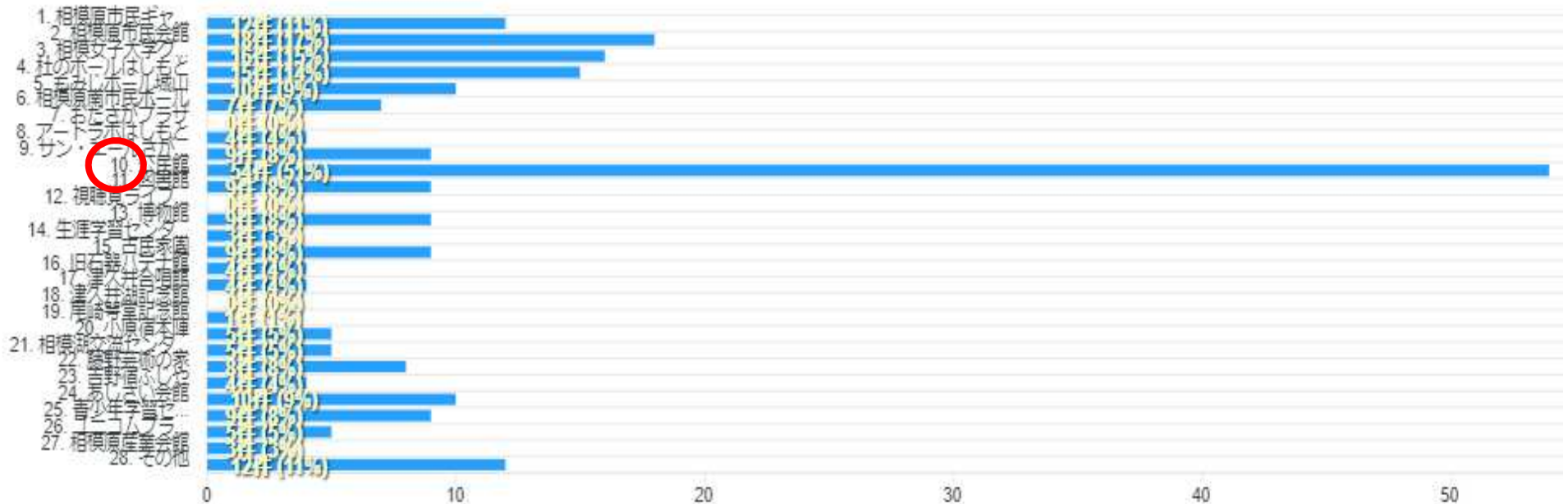
- :「市内の公共施設」を利用したと回答した割合が最も高かったのは**70代以上**
- :「市外の文化施設」を利用したと回答した割合が最も高かったのは**20代**
- :どの年代も「市内の公共施設」あるいは「市外の文化施設」の利用が最も高い



問5 問4で「(1)」を選択した方に伺います。文化的な活動を行ったことのある市内の公共施設はどこですか。
【複数選択可】

➔「公民館」が51%と最も多く、次いで「相模原市民会館」が17%「相模女子大学グリーンホール」が15%となっている。

※前回調査時(文化的な活動や文化・芸術の鑑賞に係る施設の利用状況)
→「相模女子大学グリーンホール」が最多の48.1%、「公民館」が29.1%



《年代別傾向》

・30代を除いて
いずれの年代も
「公民館」が上位

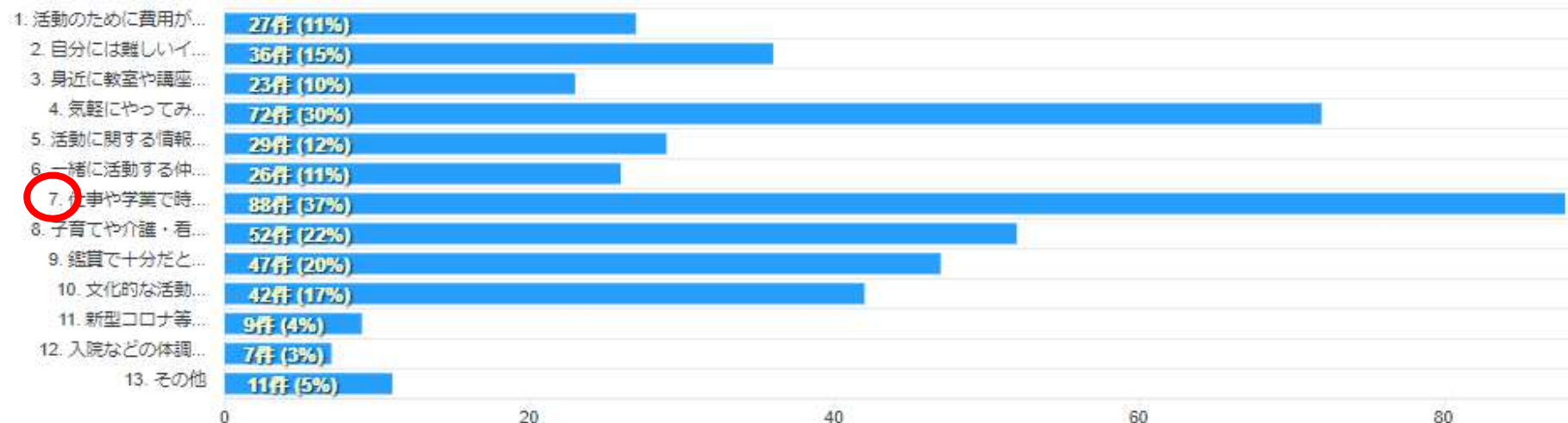
・「市民会館」
「グリーンホール」
「市民ギャラリー」
の利用も多い

年代	1位	2位	3位
10代	公民館(40%)	その他【学校】(30%)	津久井合唱館(20%)
20代	市民会館(44%)	社のホールはしもと(17%)	公民館(11%)
30代	市民ギャラリー(35%)	グリーンホール(30%)	社のホールはしもと(11%)
40代	公民館、市民会館(29%)	グリーンホール、藤野芸術の家(11%)	市民ギャラリー(7%)
50代	古民家園(36%)	公民館(33%)	グリーンホール、サン・エール(9%)
60代	公民館(31%)	社のホールはしもと(22%)	市民会館、市民ギャラリー(16%)
70代以上	市民ギャラリー(28%)	公民館(25%)	南市民ホール(13%)

問6 問3で「(3)」を選択した方に伺います。文化的な活動をしていない(したことがない)理由は何ですか。
【複数選択可】

➔「仕事や学業で時間が取れない」が37%と最も多く、次いで「気軽にやってみる機会がない」が30%、「子育てや介護・看護で時間が取れない」が22%となっている。

※前回調査時→「仕事や学業で時間が取れない」が最多の35.3%、「気軽にやってみる機会がない」が26.3%



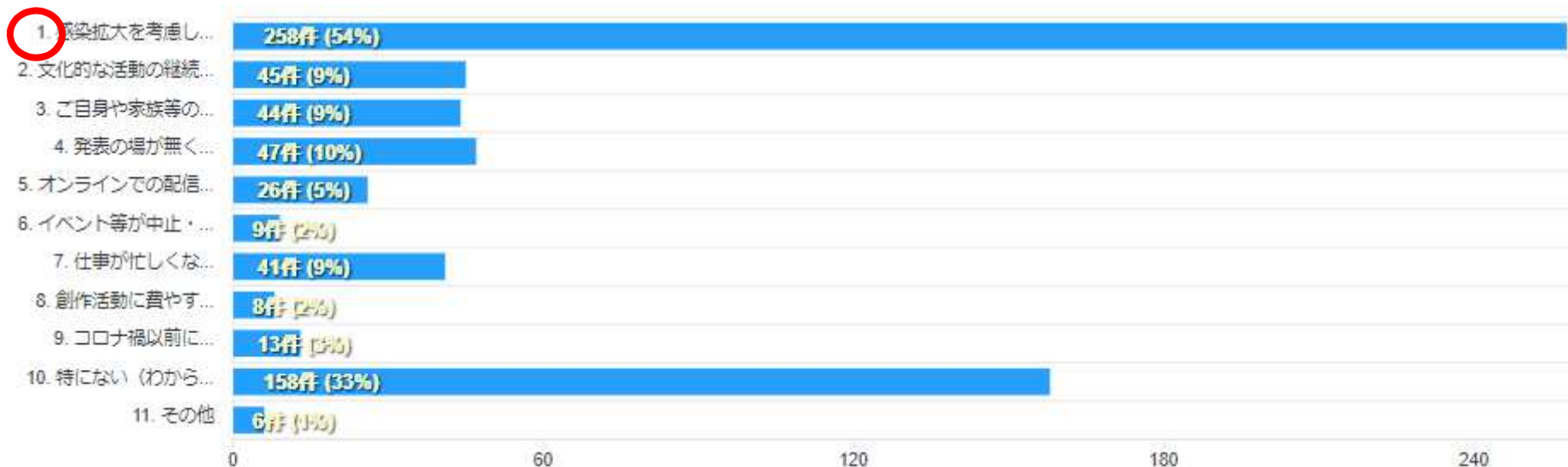
《年代別傾向》

- ・10代、20代は「活動に関心がない」や「自分には難しいイメージがある」が上位
- ・20代以降の年代では「気軽にやってみる機会がない」が上位
- ・20～50代の働き世代は「仕事や学業で時間が取れない」が上位

年代	1位	2位	3位
10代	文化的な活動に関心がない(56%)	仕事や学業で時間が取れない 自分には難しいイメージがある(22%)	—
20代	自分には難しいイメージがある(21%)	仕事や学業で時間が取れない 文化的な活動に関心がない 鑑賞で十分だと思っている 気軽にやってみる機会がない(12%)	子育てや介護・看護で時間が取れない 身近に教室や講座がない(9%)
30代	活動のために費用がかかる(23%)	気軽にやってみる機会がない(19%)	仕事や学業で時間が取れない(18%)
40代	気軽にやってみる機会がない(28%)	活動のために費用がかかる(26%)	仕事や学業で時間が取れない(19%)
50代	仕事や学業で時間が取れない(20%)	気軽にやってみる機会がない(16%)	子育てや介護・看護で時間が取れない(13%)
60代	活動のために費用がかかる(29%)	気軽にやってみる機会がない(20%)	身近に教室や講座がない(12%)
70代以上	自分には難しいイメージがある(23%)	気軽にやってみる機会がない(21%)	文化的な活動に関心がない(18%)

問7 新型コロナによって文化的な活動にどのような影響があったか教えてください。【複数選択可】

➔「感染拡大を考慮し外出を控えるようになった」が54%と最も多く、次いで「特にない（わからない）」が33%となっている。



《年代別傾向》

・いずれの年代も「感染拡大を考慮し外出を控えるようになった」と「特にない(わからない)」が1位・2位

・10～20代は発表の場が無くなり主に準備(練習)中心と影響を受けた

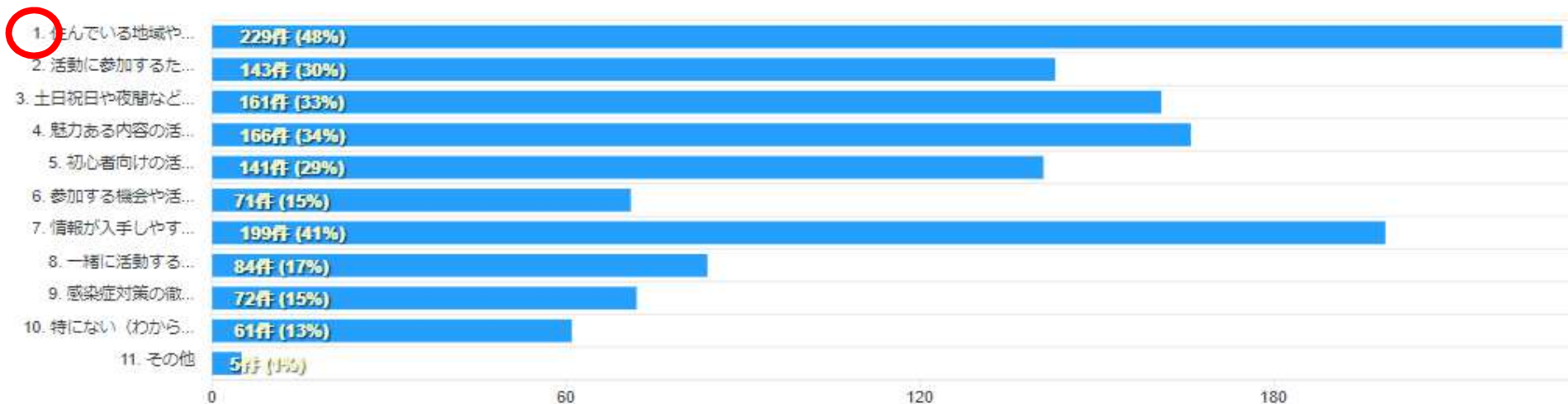
・40代以降は文化的な活動の継続を断念した状況も発生

年代	1位	2位	3位
10代	感染拡大を考慮し外出を控えるようになった(53%)	特にない(わからない)(17%)	発表の場が無くなり、やむなく主に準備(練習)中心になった(14%)
20代	感染拡大を考慮し外出を控えるようになった(45%)	特にない(わからない)(19%)	発表の場が無くなり、やむなく主に準備(練習)中心になった(15%)
30代	感染拡大を考慮し外出を控えるようになった(63%)	特にない(わからない)(21%)	ご自身や家族等の健康状態の悪化等により、活動に取り組めなくなった(5%)
40代	感染拡大を考慮し外出を控えるようになった(61%)	特にない(わからない)(22%)	オンラインでの配信活動や作品鑑賞など今までと異なる方法で活動を行うことになった 文化的な活動の継続を断念した(5%)
50代	感染拡大を考慮し外出を控えるようになった(57%)	特にない(わからない)(24%)	文化的な活動の継続を断念した(8%)
60代	感染拡大を考慮し外出を控えるようになった(60%)	特にない(わからない)(29%)	仕事が忙しくなり文化的な活動が出来なくなった 文化的な活動の継続を断念した(4%)
70代以上	感染拡大を考慮し外出を控えるようになった(67%)	特にない(わからない)(21%)	文化的な活動の継続を断念した(5%)

問8 どうすれば文化的な活動に参加しやすくなると思いますか。【複数選択可】

➔「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」が48%と最も多く、次いで「情報が入手しやすくなる」が41%、「魅力ある内容の活動が行われる」が34%となっている。

※前回調査時 →「魅力ある内容の活動が行われる」と「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」が最多の35.2%、「初心者向けの活動が行われる」が32.2%



《年代別傾向》

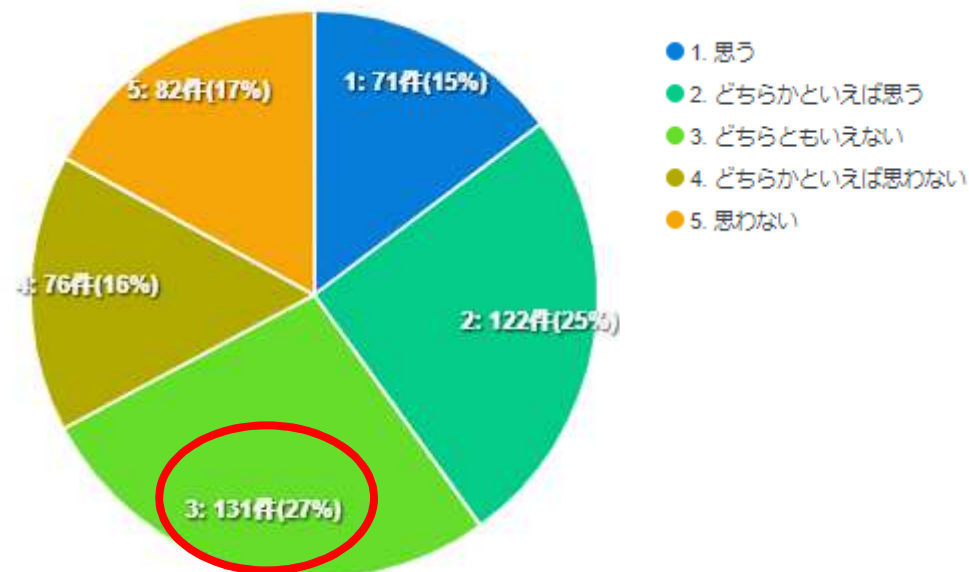
- ・いずれの年代も「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」が1位
- ・10代を除いて「活動に参加するための費用の負担が軽くなる」が上位
- ・10～50年代は「土日祝日や夜間などにも活動が行われる」が上位

年代	1位	2位	3位
10代	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる(40%)	土日祝日や夜間などにも活動が行われる(30%)	特にない(わからない)(12%)
20代	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる(46%)	土日祝日や夜間などにも活動が行われる(20%)	活動に参加するための費用の負担が軽くなる(11%)
30代	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる(72%)	土日祝日や夜間などにも活動が行われる(11%)	活動に参加するための費用の負担が軽くなる(7%)
40代	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる(58%)	活動に参加するための費用の負担が軽くなる(13%)	土日祝日や夜間などにも活動が行われる(9%)
50代	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる(40%)	活動に参加するための費用の負担が軽くなる(18%)	土日祝日や夜間などにも活動が行われる(13%)
60代	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる(56%)	魅力ある内容の活動が行われる(14%)	活動に参加するための費用の負担が軽くなる(9%)
70代以上	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる(67%)	初心者向けの活動が行われる(9%)	活動に参加するための費用の負担が軽くなる(8%)

問9 文化的な活動を通じて地域の団体やサークルなどのグループに加わりたいと思いますか。(〇は1つだけ)

→「どちらともいえない」が**27%**と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が**25%**となっている。

※“思う”(「思う」と「どちらかといえば思う」の合計)が**40%**、“思わない”(「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計)が**33%**

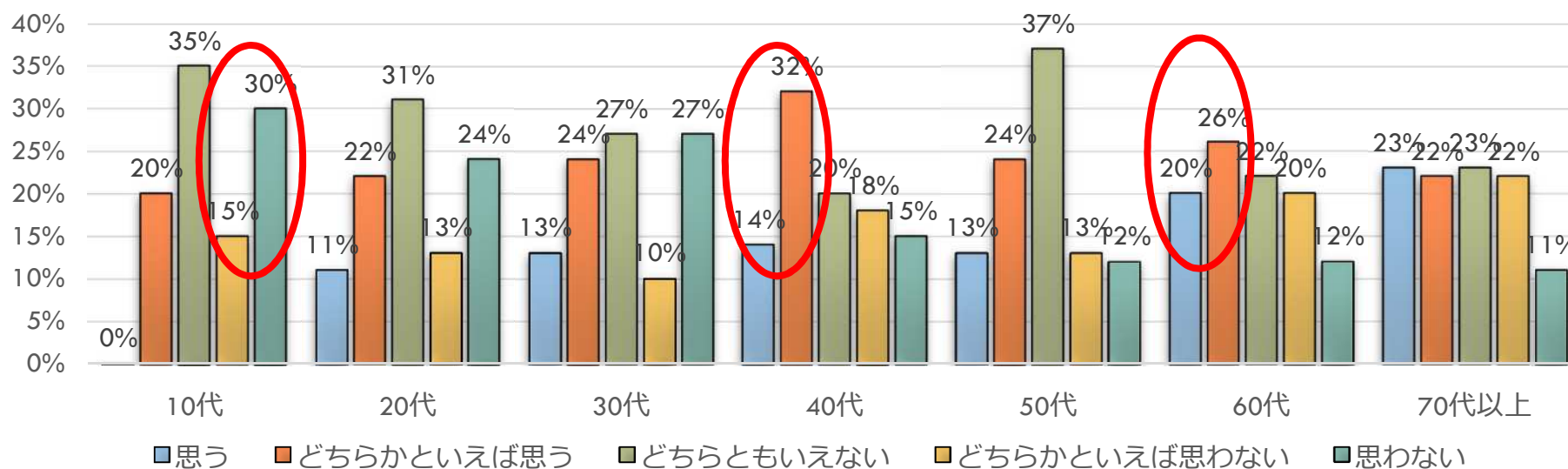


《年代別傾向》

○：“思う”(「思う」と「どちらかといえば思う」の合計)と回答した割合が最も高かったのは**40代**と**60代**

○：“思わない”(「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計)と回答した割合が最も高かったのは**10代**

○：**40代**以上はグループに加わりたいと“思う”が“思わない”を上回っている



問10 今後してみたい文化的な活動は何ですか。【複数選択可】

➔「美術（絵画・彫刻・工芸（金工・陶芸・ガラス・織り・染色）など）」が28%と最も多く、次いで「特にない（わからない）」が24%、「音楽（オーケストラ・軽音楽など）」が21%となっている。



《年代別傾向》

- ・いずれの年代も「美術（絵画・彫刻・工芸（金工・陶芸・ガラス・織り・染色）など）」が上位
- ・20代を除いて「特にない」も上位
- ・20～50年代は「音楽（オーケストラ・軽音楽など）」が上位

年代	1位	2位	3位
10代	特にない(30%)	美術(22%)	バレエ・ダンス(15%)
20代	音楽(29%)	美術(27%)	写真(10%)
30代	美術(29%)	音楽(22%)	特にない(15%)
40代	美術(39%)	音楽(13%)	特にない(12%)
50代	美術(39%)	特にない(13%)	音楽(12%)
60代	美術(32%)	特にない(16%)	写真(9%)
70代以上	美術(33%)	特にない(23%)	合唱(8%)



C : 文化芸術の鑑賞の状況

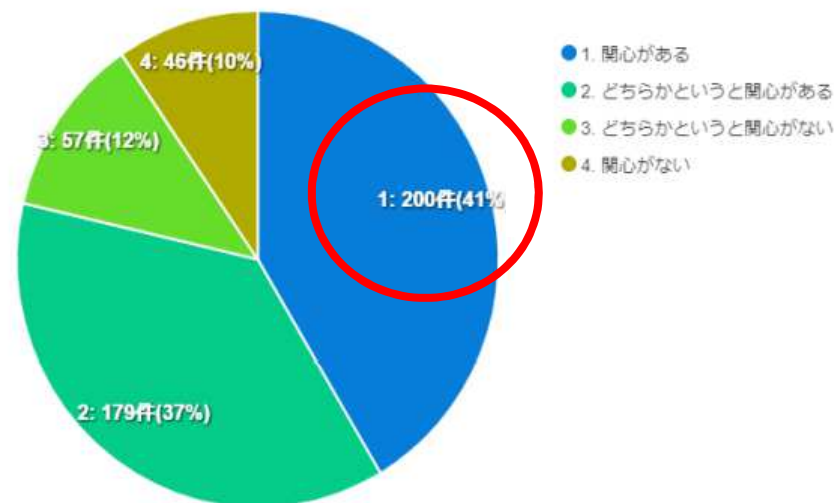


問11 文化芸術の鑑賞に関心を持っていますか。
(○は1つだけ)

⇒「関心がある」が**41%**と最も多く、次いで「どちらかというに関心がある」が**37%**となっている。

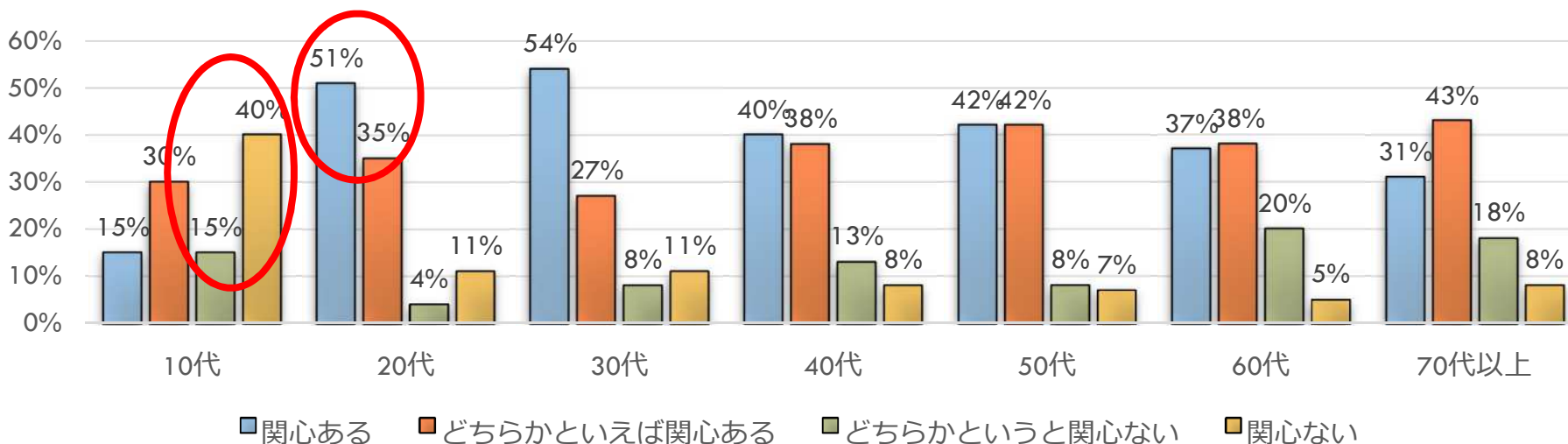
※“関心がある”(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)が**78%**、“関心がない”(「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計)が**22%**

※前回調査時 → 「関心がある」が最多の**37.9%**、
「どちらかというに関心がある」が**36.6%**



《年代別傾向》

- ：“関心がある”(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)と回答した割合が最も高かったのは**20代**
- ：“関心がない”(「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計)と回答した割合が最も高かったのは**10代**
- ：**20代以上**は**70%**以上の方が文化芸術の鑑賞に関心を持っている



問12 過去1年以内に文化芸術を鑑賞しましたか。
(〇は1つだけ)

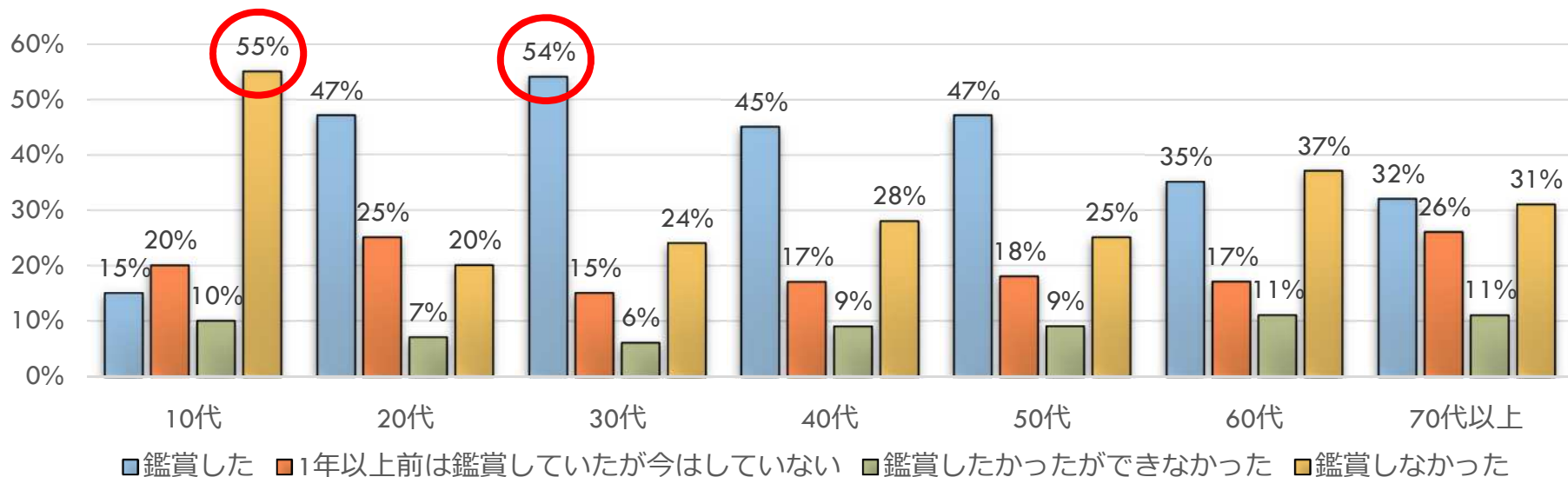
→「鑑賞した」が**43%**と最も多く、次いで
「鑑賞しなかった」が**29%**となっている。

※前回調査時 →
「鑑賞した」が最多の51.9%、「鑑賞しなかった」が31.2%



《年代別傾向》

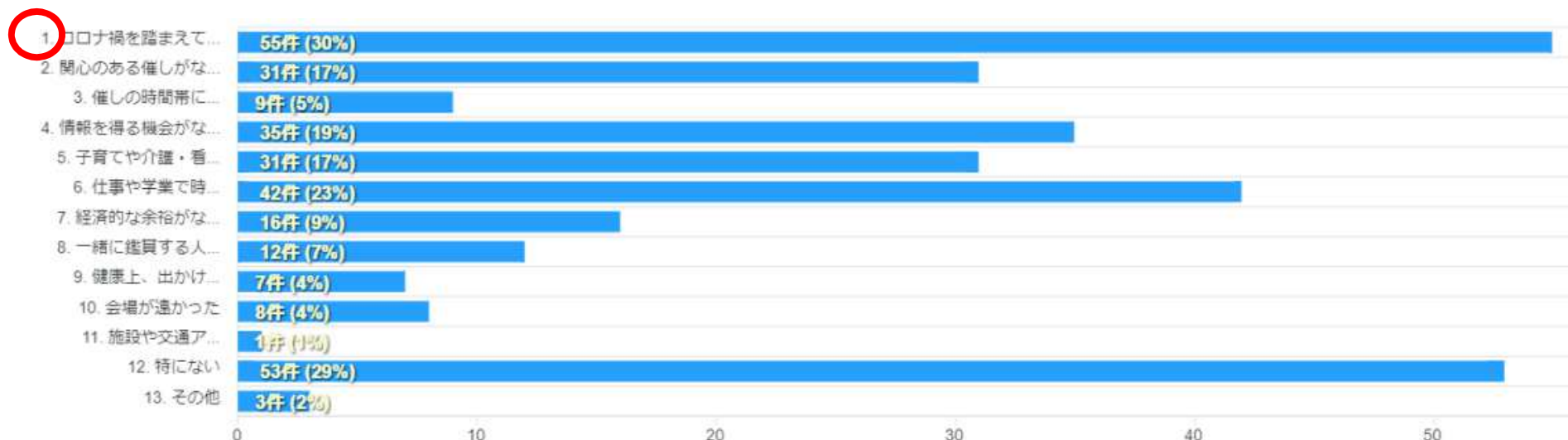
- :「鑑賞した」と回答した割合が最も高かったのは**30代**
- :「鑑賞しなかった」と回答した割合が最も高かったのは**10代**
- :**10代**と**60代**を除いたその他の年代では過去1年以内に「鑑賞した」と回答した割合が最も高かった



問13 問12で「(3)」「(4)」を選択した方に伺います。文化芸術を鑑賞しなかった(できなかった)理由は何ですか。
【複数選択可】

➔ 「コロナ禍を踏まえて外出を控えた」が30%と最も多く、次いで「特にない(わからない)」が29%、「仕事や学業で時間がなかった」が23%となっている。

※前回調査時→「仕事や学業で時間がなかった」が最多の28.7%、「情報を得る機会がなかった」が23.6%



《年代別傾向》

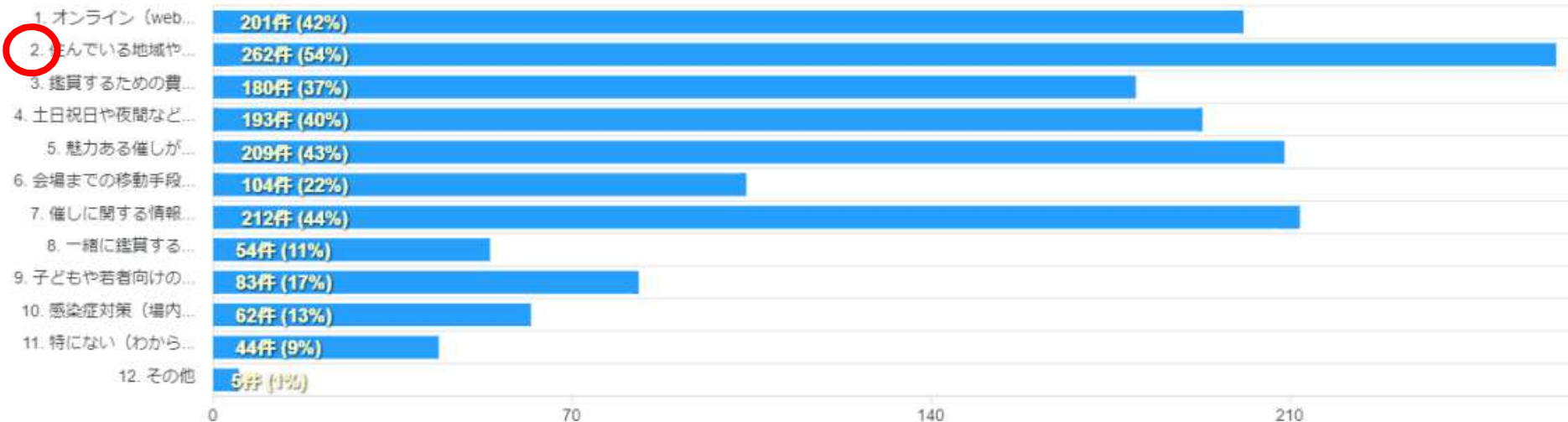
- ・いずれの年代も「コロナ禍を踏まえて外出を控えた」が上位となり、40代以降は活動をしなかった理由の1位
- ・30代～60代では「情報を得る機会がなかった」が上位
- ・「関心がある催しがなかった」も多い傾向

年代	1位	2位	3位
10代	特にない(38%)	コロナ禍を踏まえて外出を控えた(31%)	仕事や学業で時間がなかった(19%)
20代	特にない(32%)	子育てや介護・看護で時間がなかった(26%)	コロナ禍を踏まえて外出を控えた(21%)
30代	子育てや介護・看護で時間がなかった(25%)	コロナ禍を踏まえて外出を控えた 特にない 情報を得る機会がなかった(23%)	関心のある催しがなかった(5%)
40代	コロナ禍を踏まえて外出を控えた(40%)	情報を得る機会がなかった(16%)	関心のある催しがなかった(13%)
50代	コロナ禍を踏まえて外出を控えた(40%)	特にない(22%)	情報を得る機会がなかった(13%)
60代	コロナ禍を踏まえて外出を控えた(31%)	関心のある催しがなかった(27%)	情報を得る機会がなかった(9%)
70代以上	コロナ禍を踏まえて外出を控えた(51%)	特にない(20%)	関心のある催しがなかった(10%)

問14 どうすれば文化芸術を鑑賞しやすくなると思いますか。【複数選択可】

→「住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる」が54%と最も多く、次いで「催しに関する情報が入手しやすくなる」が44%、「魅力ある催しが行われている」が43%、「オンライン（web）環境下で鑑賞することができる」が42%となっている。

※前回調査時 → 「住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる」が最多の**52.6%**、「魅力ある催しが行われている」が**50.9%**



《年代別傾向》

・いずれの年代も「オンライン(web)環境下で鑑賞することができる」が上位となり、10～50代では鑑賞しやすくなる理由の1位

・20代以降では「住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる」が上位となり、60代以上では理由の1位

年代	1位	2位	3位
10代	オンライン(web)環境下で鑑賞することができる(81%)	特になし(8%)	土日祝日や夜間などにも鑑賞することができる(6%)
20代	オンライン(web)環境下で鑑賞することができる(74%)	住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる(18%)	魅力ある催しが行われている(3%)
30代	オンライン(web)環境下で鑑賞することができる(69%)	住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる(23%)	特になし(3%)
40代	オンライン(web)環境下で鑑賞することができる(55%)	住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる(26%)	鑑賞するための費用の負担が軽くなる(10%)
50代	オンライン(web)環境下で鑑賞することができる(44%)	住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる(38%)	魅力ある催しが行われている(8%)
60代	住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる(47%)	オンライン(web)環境下で鑑賞することができる(32%)	情報を得る機会がなかった(9%)
70代以上	住んでいる地域やその近くで鑑賞することができる(65%)	オンライン(web)環境下で鑑賞することができる(32%)	関心のある催しがあった(10%)

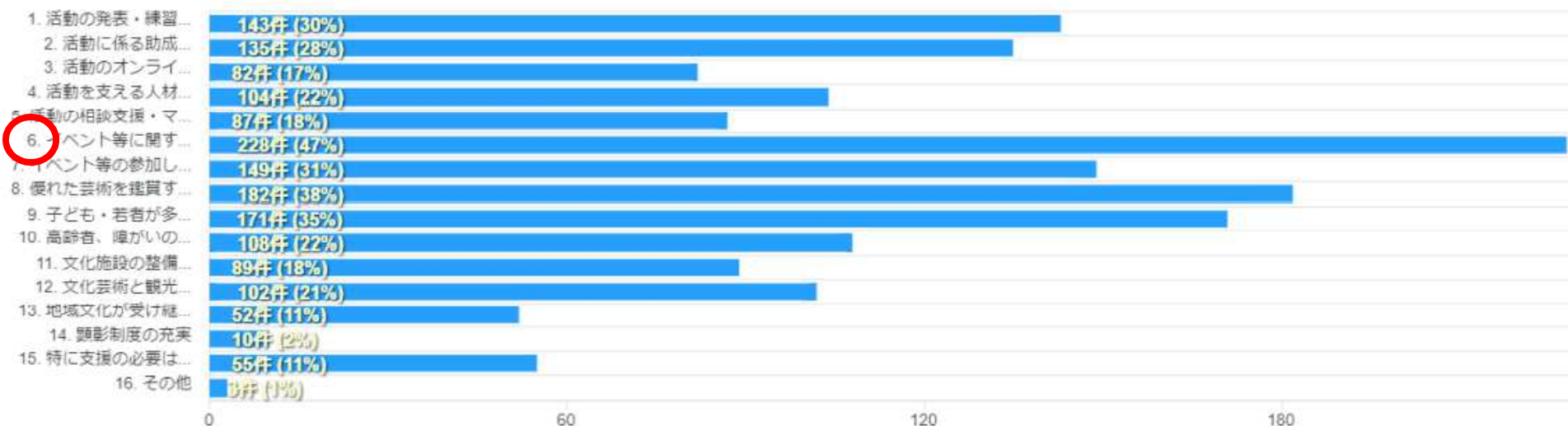


D : 市の取組



問15 文化的な活動や鑑賞を行う上で、あると良いと思う市の支援や施策を教えてください。【複数選択可】

→「イベント等に関する情報発信（周知・啓発）」が47%と最も多く、次いで「優れた芸術を鑑賞する機会の充実」が38%、「子ども・若者が多様な文化芸術に触れる取組」が35%となっている。



《年代別傾向》

・60代までは「活動の発表・練習等を行う機会の創出」が1位

・いずれの年代も「活動に係る助成金(補助金)の充実」や「イベント等に関する情報発信」が上位

年代	1位	2位	3位
10代	活動の発表・練習等を行う機会の創出 (56%)	イベント等に関する情報発信 活動に係る助成金(補助金)の充実 (15%)	特に支援の必要はない(7%)
20代	活動の発表・練習等を行う機会の創出 (41%)	活動に係る助成金(補助金)の充実 (15%)	活動の相談支援・マッチング支援 (14%)
30代	活動の発表・練習等を行う機会の創出 (56%)	活動に係る助成金(補助金)の充実 (11%)	イベント等に関する情報発信(10%)
40代	活動の発表・練習等を行う機会の創出 (42%)	活動に係る助成金(補助金)の充実 (26%)	イベント等に関する情報発信 (11%)
50代	活動の発表・練習等を行う機会の創出 (46%)	活動に係る助成金(補助金)の充実 (16%)	イベント等に関する情報発信 (15%)
60代	活動の発表・練習等を行う機会の創出 (34%)	活動に係る助成金(補助金)の充実 (19%)	イベント等に関する情報発信 (14%)
70代以上	活動を支える人材育成・後継者育成への支援(18%)	イベント等に関する情報発信(16%)	活動に係る助成金(補助金)の充実 (11%)

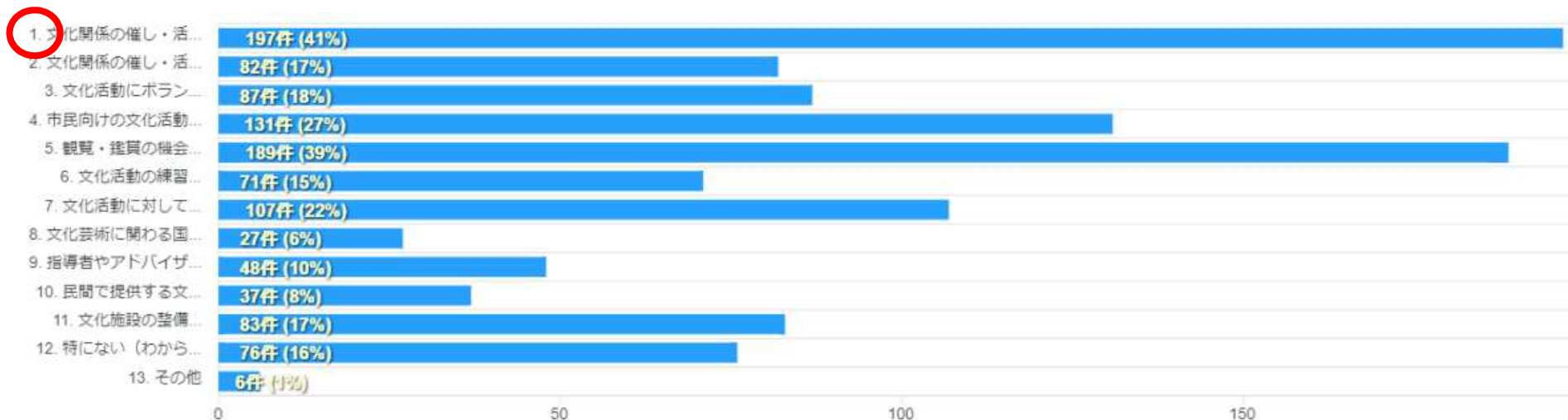


E : 市民・団体・企業の取組



問16 市民の文化活動がより盛んになるために、市民や文化芸術団体、企業が行うものとして何が必要だと思いますか。【複数選択可】

→「文化関係の催し・活動を数多く開催する」が41%と最も多く、次いで「観覧・鑑賞の機会の提供」が39%、「市民向けの文化活動に関する情報の提供」が27%となっている。



《年代別傾向》

- ・いずれの年代も「文化関係の催し・活動を数多く開催する」が1位
- ・10代は「文化活動の練習や制作及び発表場所の提供」を期待している
- ・30代及び50代以上は「市民向けの文化活動に関する情報の提供」を求めている

年代	1位	2位	3位
10代	文化関係の催し・活動を数多く開催する(61%)	特にない(23%)	文化活動の練習や制作及び発表場所の提供(6%)
20代	文化関係の催し・活動を数多く開催する(55%)	文化関係の催し・活動に参加する(17%)	文化活動にボランティアとして参加する(6%)
30代	文化関係の催し・活動を数多く開催する(65%)	市民向けの文化活動に関する情報の提供(9%)	特にない(8%)
40代	文化関係の催し・活動を数多く開催する(58%)	観覧・鑑賞の機会の提供(12%)	文化関係の催し・活動に参加する(9%)
50代	文化関係の催し・活動を数多く開催する(46%)	市民向けの文化活動に関する情報の提供(17%)	観覧・鑑賞の機会の提供(10%)
60代	文化関係の催し・活動を数多く開催する(42%)	市民向けの文化活動に関する情報の提供(22%)	文化関係の催し・活動に参加する(11%)
70代以上	文化関係の催し・活動を数多く開催する(35%)	市民向けの文化活動に関する情報の提供(17%)	観覧・鑑賞の機会の提供(16%)

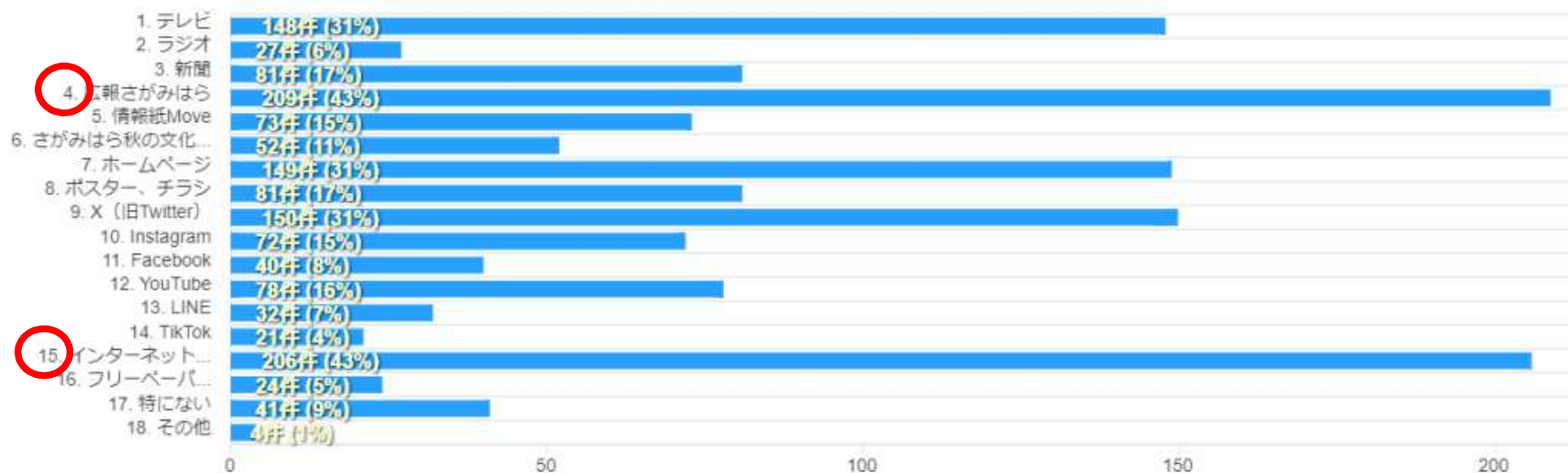


**F : 情報の入手方法・
鑑賞機会の充実**



問17 普段どの媒体から文化芸術に関する情報を得ていますか。【複数選択可】

→ 「広報さがみはら」と「インターネット（ニュースサイト）」が43%と最も多く、次いで「テレビ」と「ホームページ」「X（旧Twitter）」が31%となっている（「特にない」を除く）。



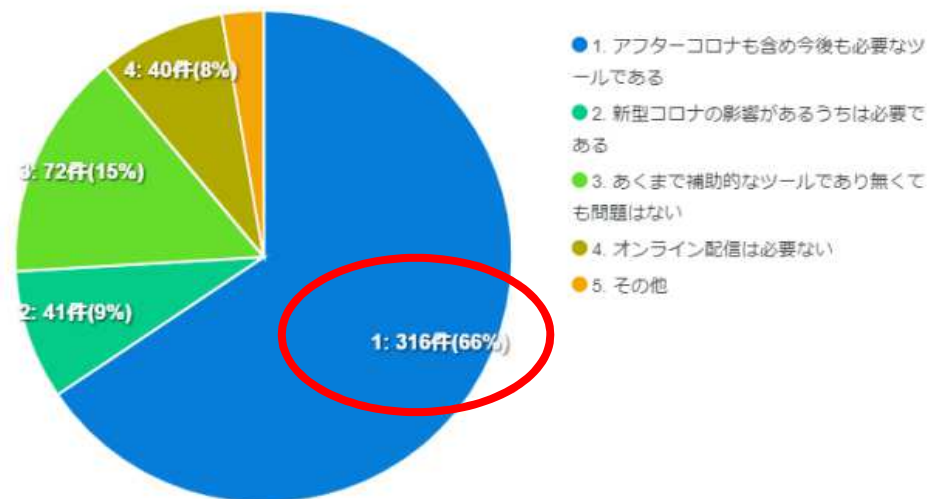
《年代別傾向》

- ・10～40代では「X(旧Twitter)」や「ホームページ」が上位
- ・40代以上は「広報さがみはら」が上位(50代以上は新聞も上位)
- ・「テレビ」は幅広い年代が利用している

年代	1位	2位	3位
10代	X(旧Twitter)(53%)	情報紙Move(10%)	TikTok(9%)
20代	ホームページ(34%)	X(旧Twitter)(24%)	テレビ(23%)
30代	テレビ(28%)	ホームページ(21%)	X(旧Twitter)(14%)
40代	広報さがみはら・テレビ(30%)	ホームページ(10%)	X(旧Twitter)(8%)
50代	テレビ(37%)	広報さがみはら(29%)	新聞(11%)
60代	テレビ(51%)	広報さがみはら(19%)	新聞(8%)
70代以上	広報さがみはら(38%)	テレビ(26%)	新聞(16%)

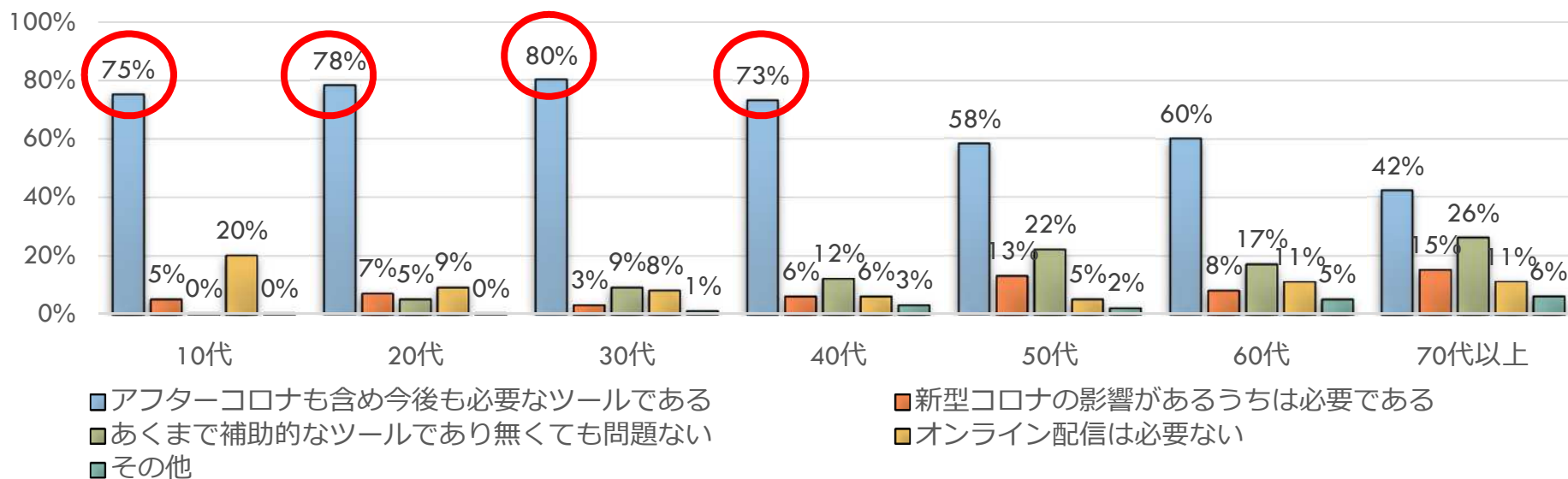
問18 文化芸術のオンライン配信について、どのように考えますか。(〇は1つだけ)

➡「アフターコロナも含め、今後も必要なツールである」が66%と最も多く、次いで「あくまで補助的なツールであり無くても問題はない」が15%となっている。



《年代別傾向》

- : 10代から40代までは「アフターコロナも含め今後も必要なツール」と回答した割合が70%以上と最も高かった
- : 年代が上がるに連れて「アフターコロナも含め今後も必要なツール」と回答した割合が下がっている
- : いずれの年代もオンライン配信は今後も必要なツールと考えている



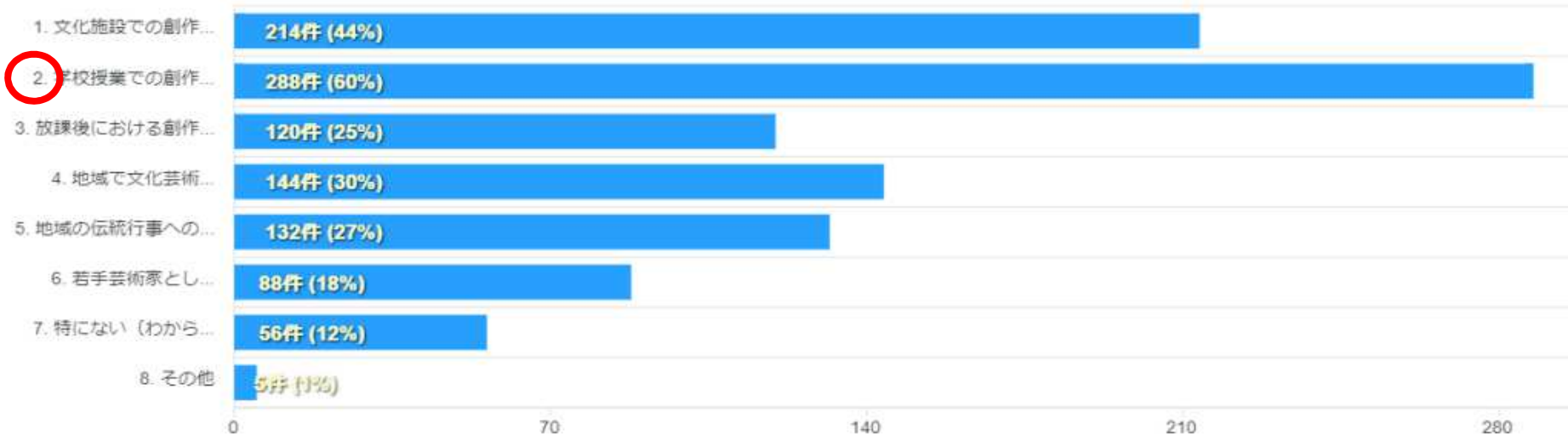


G : 子ども・若者への支援



問19 子どもや若者が文化芸術により親しめるよう、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。
【複数選択可】

➔「学校授業での創作・鑑賞機会の充実」が60%と最も多く、次いで「文化施設での創作・鑑賞機会の充実」が44%、「地域で文化芸術に親しむ機会の充実（地域音楽祭の開催など）」が30%となっている。



《年代別傾向》

・いずれの年代も「文化施設での創作・鑑賞機会の充実」と「学校授業での創作・鑑賞機会の充実」が1位、2位

年代	1位	2位	3位
10代	文化施設での創作・鑑賞機会の充実 (42%)	学校授業での創作・鑑賞機会の充実 (32%)	特にない(18%)
20代	文化施設での創作・鑑賞機会の充実 (43%)	学校授業での創作・鑑賞機会の充実 (31%)	放課後における創作・鑑賞機会の充実 (13%)
30代	文化施設での創作・鑑賞機会の充実 (59%)	学校授業での創作・鑑賞機会の充実 (25%)	放課後における創作・鑑賞機会の充実 (5%)
40代	文化施設での創作・鑑賞機会の充実 (57%)	学校授業での創作・鑑賞機会の充実 (32%)	特にない(4%)
50代	文化施設での創作・鑑賞機会の充実 (41%)	学校授業での創作・鑑賞機会の充実 (39%)	地域の伝統行事への参加機会の充実 (8%)
60代	文化施設での創作・鑑賞機会の充実 (42%)	学校授業での創作・鑑賞機会の充実 (29%)	地域で文化芸術に親しむ機会の充実 (12%)
70代以上	文化施設での創作・鑑賞機会の充実 (38%)	学校授業での創作・鑑賞機会の充実 (28%)	地域で文化芸術に親しむ機会の充実 (10%)

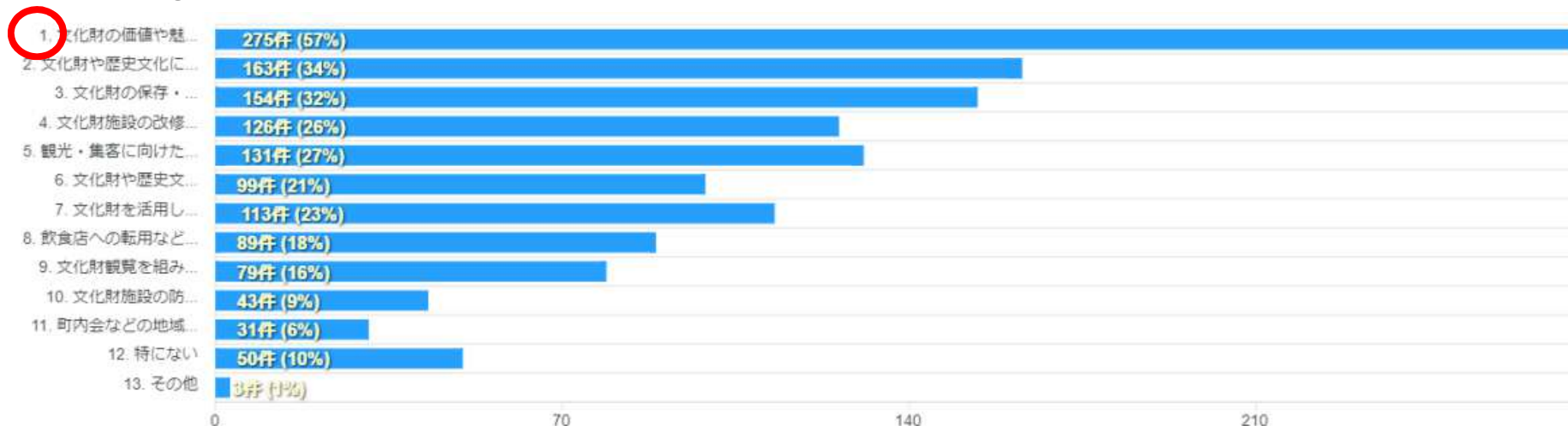


H : 文化財の保存・活用



問20 文化財や歴史的な価値のあるものを活用しながら次の世代に引き継いでいくためには、何が必要だと思いますか。【複数選択可】

→ 「文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信」が57%と最も多く、次いで「文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実」が34%、「文化財の保存・活用に関する担い手の育成」が32%となっている。



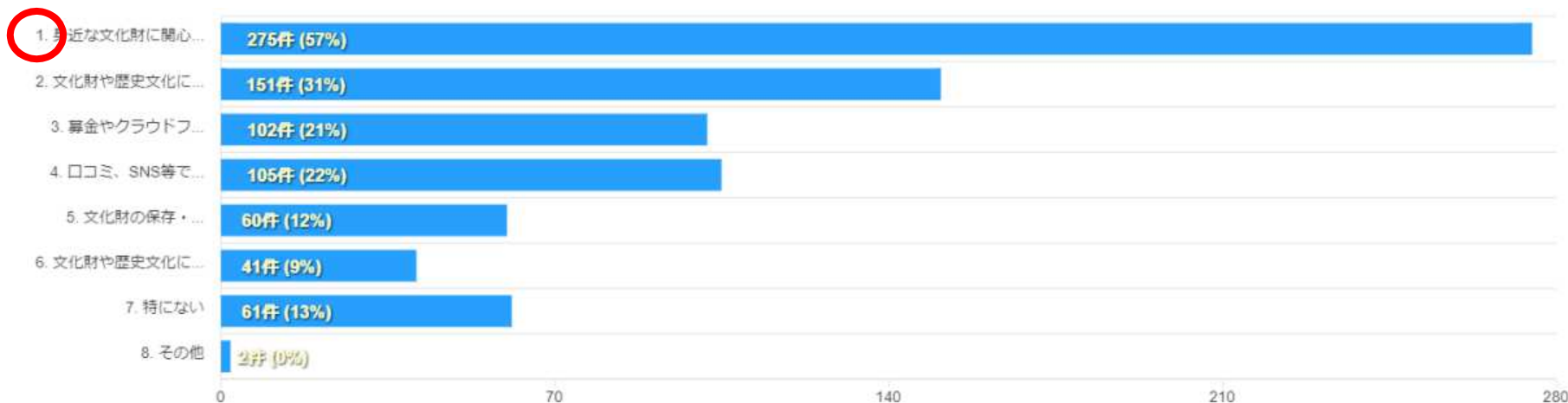
《年代別傾向》

・いずれの年代も「文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信」が1位
 ・20～60代では「文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実」が上位

年代	1位	2位	3位
10代	文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信(42%)	特になし(32%)	観光・集客に向けた文化財のPRの強化(10%)
20代	文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信(56%)	文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実(21%)	文化財施設の改修・整備(7%)
30代	文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信(57%)	文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実(15%)	文化財の保存・活用に関する担い手の育成(14%)
40代	文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信(65%)	文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実(17%)	文化財の保存・活用に関する担い手の育成(6%)
50代	文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信(63%)	文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実(20%)	文化財の保存・活用に関する担い手の育成(9%)
60代	文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信(56%)	文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実(13%)	文化財の保存・活用に関する担い手の育成(10%)
70代以上	文化財の価値や魅力を多くの人が共有するための情報発信(66%)	文化財や歴史文化に関する学校教育や生涯学習の充実(16%)	文化財の保存・活用に関する担い手の育成(7%)

問21 文化財や歴史的な価値のあるものを活用しながら次の世代に残していくために、どのようなことなら参加できると思いますか。【複数選択可】

➔ 「身近な文化財に関心を持つ」が57%と最も多く、次いで「文化財や歴史文化に関するイベントに参加する」が31%、「口コミ、SNS等で情報発信する」が22%となっている。



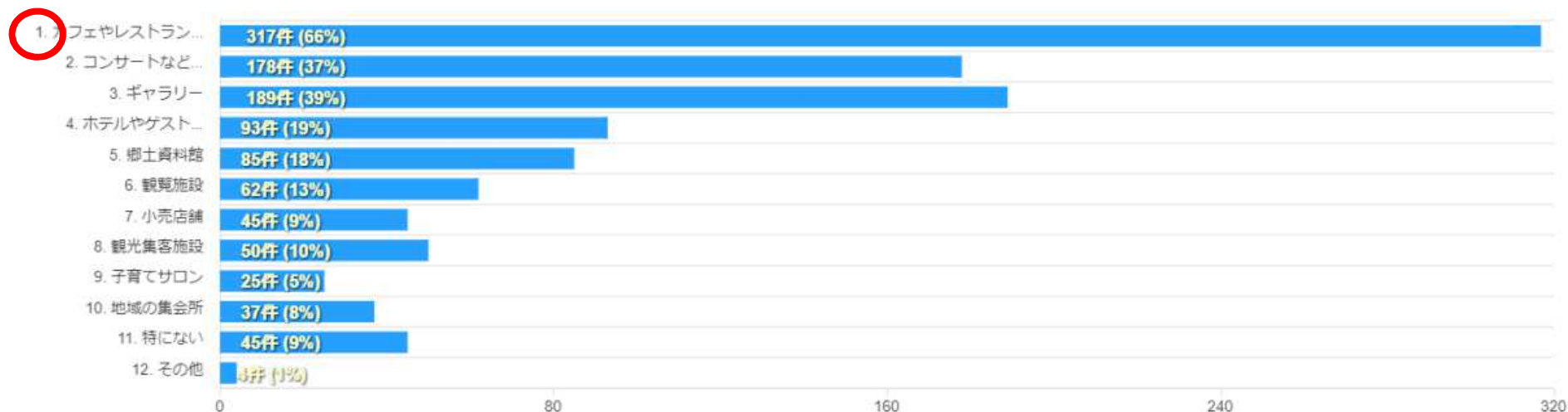
《年代別傾向》

- ・いずれの年代も「身近な文化財に関心を持つ」が1位
- ・10代を除いて「文化財や歴史文化に関するイベントに参加する」が上位

年代	1位	2位	3位
10代	身近な文化財に関心を持つ(36%)	特にない(32%)	文化財や歴史文化について学び、ガイドボランティアをする(12%)
20代	身近な文化財に関心を持つ(58%)	口コミ、SNS等で情報発信する(11%) 文化財や歴史文化に関するイベントに参加する(11%)	特にない(10%)
30代	身近な文化財に関心を持つ(57%)	募金やクラウドファンディングなどでの資金面で協力する(13%) 文化財や歴史文化に関するイベントに参加する(13%)	特にない(10%)
40代	身近な文化財に関心を持つ(70%)	文化財や歴史文化に関するイベントに参加する(13%)	口コミ、SNS等で情報発信する(9%)
50代	身近な文化財に関心を持つ(57%)	文化財や歴史文化に関するイベントに参加する(19%)	口コミ、SNS等で情報発信する(9%)
60代	身近な文化財に関心を持つ(65%)	募金やクラウドファンディングなどでの資金面で協力する(14%)	文化財や歴史文化に関するイベントに参加する(13%)
70代以上	身近な文化財に関心を持つ(60%)	文化財や歴史文化に関するイベントに参加する(18%)	特にない(10%)

問22 文化財建造物がどのような施設として活用されていると行ってみたいと思いますか。【複数選択可】

⇒「カフェやレストラン等の飲食施設」が66%と最も多く、次いで「ギャラリー」が39%、「コンサートなどを行うホール」が37%となっている。



《年代別傾向》

・いずれの年代も「カフェやレストラン等の飲食施設」が1位又は2位
 ・その他は「ギャラリー」や「コンサートなどを行うホール」として活用されることで行ってみたいと考える方が多い

年代	1位	2位	3位
10代	カフェやレストラン等の飲食施設 (74%)	特になし (15%)	コンサートなどを行うホール (9%)
20代	カフェやレストラン等の飲食施設 (80%)	ギャラリー (7%)	コンサートなどを行うホール 特になし (6%)
30代	カフェやレストラン等の飲食施設 (79%)	コンサートなどを行うホール (7%)	ギャラリー (6%)
40代	カフェやレストラン等の飲食施設 (76%)	コンサートなどを行うホール (9%)	ホテルやゲストハウス等の宿泊施設 郷土資料館 (4%)
50代	カフェやレストラン等の飲食施設 (73%)	ギャラリー (9%)	コンサートなどを行うホール (8%)
60代	カフェやレストラン等の飲食施設 (65%)	ギャラリー (12%)	コンサートなどを行うホール (11%)
70代以上	コンサートなどを行うホール (38%)	カフェやレストラン等の飲食施設 (25%)	ギャラリー (12%)

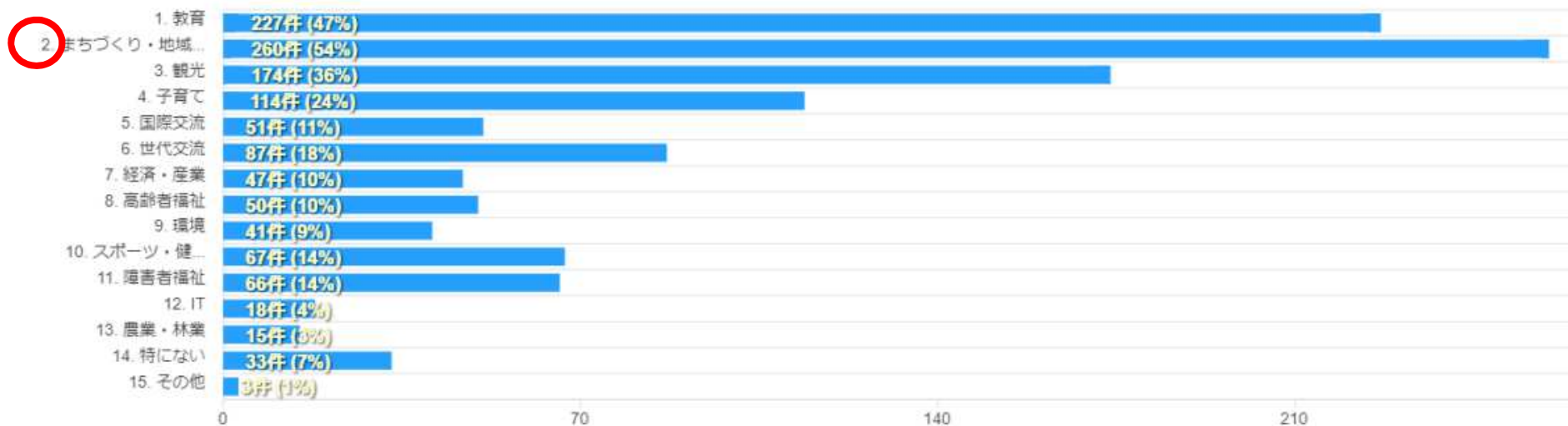


I : 文化芸術の活かし方



問23 次の分野で文化芸術を活かした方が良いと感じるものはどれですか。【複数選択可】

➔「まちづくり・地域活性化」が54%と最も多く、次いで「教育」が47%、「観光」が36%となっている。



《年代別傾向》

・いずれの年代も「教育」「まちづくり・地域活性化」が1位又は2位
 ・特に「教育」はいずれの年代も30%以上となっており文化芸術を活かした教育が高い傾向にある

年代	1位	2位	3位
10代	教育(58%)	まちづくり・地域活性化(16%)	スポーツ・健康促進 特にない(9%)
20代	教育(40%)	まちづくり・地域活性化(28%)	観光(16%)
30代	教育(47%)	まちづくり・地域活性化(23%)	観光(10%)
40代	教育(53%)	まちづくり・地域活性化(21%)	観光(9%)
50代	教育(45%)	まちづくり・地域活性化(31%)	観光(11%)
60代	まちづくり・地域活性化(34%)	教育(33%)	観光(9%)
70代以上	教育(31%)	まちづくり・地域活性化(28%)	子育て(11%)

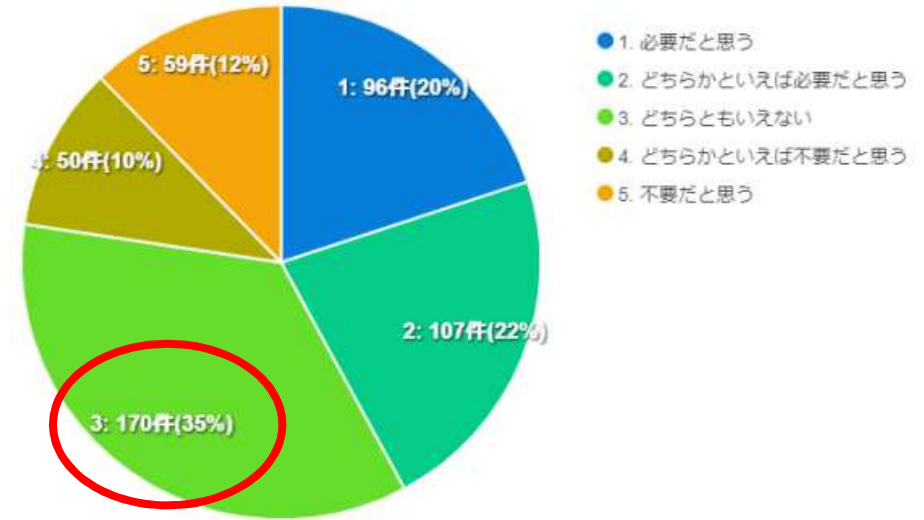


**J : 文化芸術の振興に
係る条例**



問24 相模原市では更なる文化芸術の振興を図るため、文化芸術に関する条例の制定に向けた検討を進めていますが、条例の制定についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

※「条例」とは...
市内において適用される自治立法で、国の法令に違反しない範囲で議会の議決により制定するものを言います。本市では条例を制定し、文化芸術に関する理念や市や市民等の役割、市が取り組む施策の財政上の措置などについて位置付けるかを検討しています。

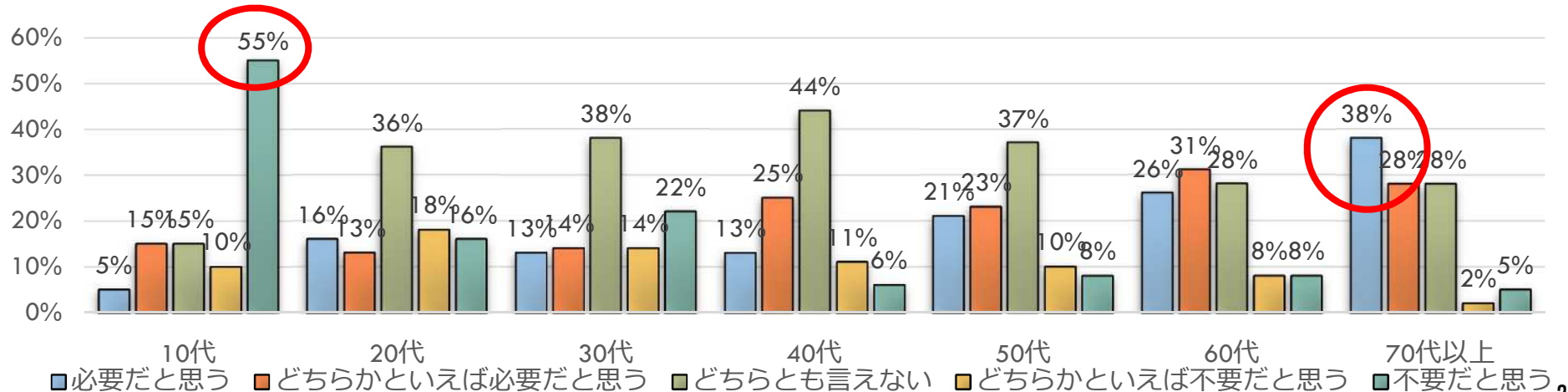


⇒「どちらともいえない」が**35%**と最も多く、次いで「どちらかといえば必要だと思う」が**22%**となっている。

※“必要だと思う”(「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計)が**42%**、“不要だと思う”(「どちらかといえば不要だと思う」と「不要だと思う」の合計)が**22%**

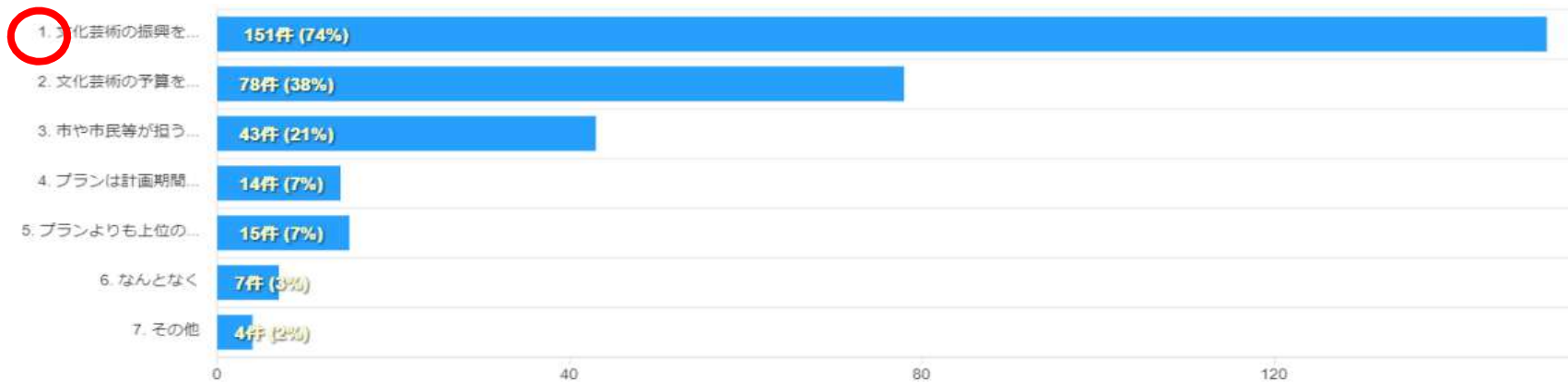
《年代別傾向》

- ：“必要だと思う”(「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計)と回答した割合が最も高かったのは**70代以上**
- ：“不要だと思う”(「どちらかといえば不要だと思う」と「不要だと思う」の合計)と回答した割合が最も高かったのは**10代**
- ：年代が上がるに連れて条例が“必要だと思う”と回答した割合が上がっている



問25 問24で「(1)」「(2)」を選択した方に伺います。条例制定が必要だと思ふ理由は何ですか。【複数選択可】

⇒「文化芸術の振興を推進するため」が74%と最も多く、次いで「文化芸術の予算を確保するため」が38%、「市や市民等が担う役割を定めオール相模原で取り組むため」が21%となっている。



年代	1位	2位	3位
10代	文化芸術の振興を推進するため なんとなく(40%)	文化芸術の予算を確保するため (20%)	—
20代	文化芸術の振興を推進するため (56%)	文化芸術の予算を確保するため (33%)	市や市民等が担う役割を定めオール 相模原で取り組むため プランよりも上位の位置付けである ため(6%)
30代	文化芸術の振興を推進するため (71%)	文化芸術の予算を確保するため (15%)	市や市民等が担う役割を定めオール 相模原で取り組むため プランよりも上位の位置付けである ため(6%)
40代	文化芸術の振興を推進するため (72%)	文化芸術の予算を確保するため (19%)	市や市民等が担う役割を定めオール 相模原で取り組むため(5%)
50代	文化芸術の振興を推進するため (68%)	文化芸術の予算を確保するため (21%)	市や市民等が担う役割を定めオール 相模原で取り組むため(6%)
60代	文化芸術の振興を推進するため (73%)	市や市民等が担う役割を定めオール 相模原で取り組むため(10%)	文化芸術の予算を確保するため (8%)
70代 以上	文化芸術の振興を推進するため (71%)	文化芸術の予算を確保するため (14%)	市や市民等が担う役割を定めオール 相模原で取り組むため(11%)

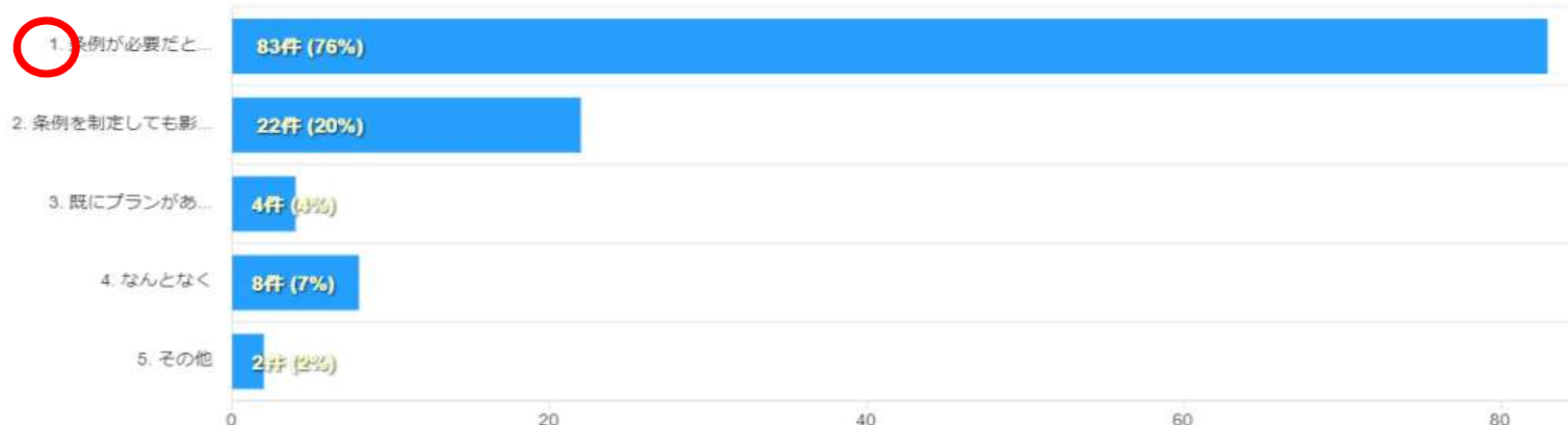
《年代別傾向》

・いずれの年代も「文化芸術の振興を推進するため」が1位で、「文化芸術の予算を確保するため」が上位

・10代では「なんとなく」も1位

問26 問24で「(4)」「(5)」を選択した方に伺います。条例制定が不要だと思う理由は何ですか。【複数選択可】

→「条例が必要だと感じないため」が76%と最も多く、次いで「条例を制定しても影響がないため」が20%、「なんとなく」が7%となっている。



《年代別傾向》
・いずれの年代も「条例が必要だと感じないため」が1位

年代	1位	2位	3位
10代	条例が必要だと感じないため (56%)	条例を制定しても影響がないため (38%)	なんとなく(6%)
20代	条例が必要だと感じないため (79%)	条例を制定しても影響がないため (11%)	—
30代	条例が必要だと感じないため (77%)	条例を制定しても影響がないため (17%)	既にプランがあるため (3%)
40代	条例が必要だと感じないため (70%)	条例を制定しても影響がないため (15%)	なんとなく(10%)
50代	条例が必要だと感じないため (79%)	条例を制定しても影響がないため (16%)	その他(他の条例も守られていない事がある中で必要とは思えない、市民文化は『市民生活の中で醸されるもの』であり、『お上』が制約するものではない。
60代	条例が必要だと感じないため (82%)	条例を制定しても影響がないため (18%)	—
70代以上	条例が必要だと感じないため (75%)	なんとなく(25%)	—

(自由意見)

※いただいたご意見は今後の施策検討・展開時の参考にさせていただきます。

年代	職業	地域	意見
75歳以上	無職	橋本	私は写真撮影を趣味にしていますが古くから地域の公民館等で個人的にも地域行事などに出展して来ました。しかし、最近痛感している点は出展の機会が制限されてきているのではないかと思います。公民館などではカルチャーなどに参加していないと使用は出来ないとか。また比較的大規模施設では団体・クラブが利用可能となっており、私のように個人利用者はシャットアウトされます。また、相模原市民ギャラリーや杜のホールは使用料が高すぎます。また、階上にあり会場が重々しく気軽に入りにくい面があります。理想は清流の里やもみじホールが買い物や用事のついでに寄って見れる点が良いと思います。今後の文化芸術の発展の場として参考に願います。
75歳以上	パート アルバイト	大野北	ひとつ伺いたい。30年以上前中国の無錫市を友好イベントが結構あったと思うが、その後どうなりましたか？5.6年前に近くまで観光で行く機会があり、桜がとても大きくなっていましたヨ！！(上海からバスに乗りました。)(市の人や有志がうえてくれたと思うのですが。)
50～59歳	その他	橋本	自主的な展示会とかをしようとしています。施設使用料や施設の立地条件は、あまり整っていないと考えています。改善していただけるとありがたいです。
75歳以上	無職	東林	個人への質問なのか、全体的な市への要望なのか、渾然としていて解答しにくかった。各地域に人材(興味をもち先導してくれる人)がいるかいないかで、結果は大きく異なる。もう少し分けて整理し考えていった方がよいと思う。
70～74歳	専業主婦 主夫	津久井	このアンケートの文化芸術の意味がいまひとつはっきりしないままに答えさせていただきました。上記の例にそって言えば私は相模原市の魅力は緑だと思えます。橋本駅前にはかつて緑あふれる学校がありました。駅を出ると緑の森、これは上手に開発すればパリのリュクサンブール公園のようになり、多くの人々のオアシスになるだろうと思っていました。残念！これからは自然を大切に、今ある緑を上手に管理・保全することではないでしょうか(緑区なんですから)。 1番の文化的な魅力は自然と共に生きることだと思えます。自然は厳しいです。自然の美しさ、厳しさと共に生きている相模原市という地域になったらいいなと思えます。
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	中央	首都圏にある市なので海外の有名アーティストも公演に来るようなコンサートホールがあるといいです。サントリーホールのように残響音の豊かなヨーロッパ風な音のホール。
30～39歳	会社員 公務員 団体職員	東林	文化芸術と聞くと難しい感じがして興味が湧きづらいと感じています。また、市をあげて文化芸術の振興に力を入れるメリットが正直よく分かりません。
40～49歳	会社員 公務員 団体職員	相武台	例えば、町田市のことばらんどのような、他にない施設があればいいなと思えます。グリーンホールのような施設はとても良いです。席数の多いコンサートホールや観劇できる施設があるのはとても魅力的です。関連人口増加に向けて、投資してほしいと思えます。
40～49歳	パート アルバイト	大野南	子ども達に相模原の良い所をもっと肌で感じて知ってもらいたい。 課外授業などで市の施設をもっと積極的に利用できれば、身近に感じるのでは。
60～64歳	パート アルバイト	津久井	わが家の近くの馬頭観音に過去にはグループで、引率者が付いて見学に来られていたが、最近見かけません。旧津久井町でしていたようですが、そのようなツアーも続けられれば良いのにと思えます。

年代	職業	地域	意見
70～74歳	パート アルバイト	光が丘	私は若くないので、出来る限り相模原市の文化芸術の振興には協力したい、するつもりです!
20～29歳	学生	新磯	相模線の電車が少しうるさいと思います。
75歳以上	無職	中央	文化・芸術は、人(市民)が行動し、情操教育に役立ち、日本人らしい性格の醸成と豊かな心を持つ市民が多くなる。そのためには、日本人として守るべき「マナーとルール」の周知徹底と指導が地域一体(市議会議員が先頭)となって進める必要がある。最近増えてきた外国人への「マナーとルール」の周知と指導が急務。特に、歩道を数人で横になって歩く、歩きスマホ(歩き通話を含む)、自転車運転中スマホなど。例えば、自転車通行のデタラメ(自転車専用レーンがあるのに歩道を高速通行、歩行者優先でなく自転車優先の通行など)の改善。
50～59歳	パート アルバイト	大野南	☆数あるホールなど施設の老朽化が目立ち、暗いイメージがあります。若い世代はあまり利用したいと思わないです。☆川崎市の「音楽のまち・かわさき」の様に、イメージ戦略は必須だと思います。※私は毎週川崎市まで出向き、音楽活動をしています。相模原市の音楽活動にあまり興味が持てなかったからです。相模原市に水のイメージはありますが文化・芸術のイメージはほぼありません。藤野は芸術のまちをうたっていますが、やはり南区に住む身では身近には感じません。せっかく弥栄高校や女子美もあるし、杜のホールやグリーンホールやもあるのに、連動したイメージができていなくて、もったいないなと思います。☆若手を支援する活動やコンクールの開催などが行われていません。(今回調べたら参加奨励金はあるようですが、気づかないです)☆生涯学習のホームページが前々から気になっていたのですが、変更されたようですね。活動したいと思ったら、直ぐに検索できると嬉しいです。※特に高齢世代はホームページの階層が深すぎると検索しづらいです。☆厳しい生活に追われる若い世代は、文化・芸術にお金も時間も回せません。このままでは文化芸術の先細り、消滅は確実です。(全ての団体に言える話ですが?)若い世代が無理なく、充実した活動を行える支援をお願いします。利便性が良く手頃な使用料で使える施設、目標となりえる発表の場、優れた指導者の活用、誰の目にも触れやす広報など、必要な事は上げればキリがないですし、結局お金がかかる話ですが、政令指定都市にふさわしい、文化芸術の振興に是非力をいれて頂きたいです。相模原市のブランディングを確立させて下さいませよう、切に願っています。
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	中央	市民に寄り添った最高の施設が身近にあると良いと思います。音楽でいうと、小規模でも音響的には最高のステージ(毎日、誰かが使える、催し物が開かれている)や、個人で練習に使える防音室の充実など。そのような場所からコミュニティーが自然と広がっていくと相模原市の魅力にもつながる気がします。
40～49歳	会社員 公務員 団体職員	相模台	横浜、川崎に次ぐ政令指定都市として、より特徴ある相模原市をめざしてほしいです。
40～49歳	パート アルバイト	中央	条例の制定については詳しい事はわからないので何も言えないがこういった部分に市として取り組もうとしている事は市民としてありがたい。日々ありがとうございます。ぜひ今後とも頑張ってください。
65～69歳	会社員 公務員 団体職員	光が丘	自然豊かさや首都圏に近い立地

年代	職業	地域	意見
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	大沢	リニア開通の予定など、将来的に都心との往来が簡単になることを見越して多くの人が集まることのできるイベントを検討したら良いかと思います。
30～39歳	会社員 公務員 団体職員	大野南	子供たちがそういった文化芸術に触れる機会を、授業に組み入れるなどして増やして欲しい
40～49歳	会社員 公務員 団体職員	橋本	西門の岡本太郎の作品『赤い手青い手』を観光資源として改修・アピールすべきだと思う。昨年開催された岡本太郎展のプロモーション用にNHKが作成した『タローマン』はガチャガチャや2024年用手帳などのグッズになり人気が出てきている。(第7話は『赤い手青い手』のエピソード)
40～49歳	専業主婦 主夫	中央	今年引っ越してきたばかりで、どういう文化財等があるのか知らないため、これから勉強します。文化を守るには、ある程度の人数が必要、芸術は天才が一人でもいれば成立するという印象があるので、振興の方法は違うかもしれません。
70～74歳	無職	星が丘	相模原市在住、また拠点にされている文化人や、芸術家、など著名な方が多くおられると思います。一般市民がなかなか知り得ない方々も、市を通して発信していただくことによって、それぞれの年代の、それぞれの方々の知識や興味の幅を拡げていけるものと思います。先だって娘に誘われ、相模原ギャラリー“岩橋英遠、崇至 ふたりのまなざし”鑑賞しました。ギャラリー、また岩橋両氏に始めて触れることができ、大変感動しました。ギャラリーも素晴らしく、何故今まで知らなかったのかといえば、情報の少なさと、興味の有るものが無かったのか、見逃してしまっていたものも多く有ると思い至ります、残念。都内の美術館には幾多足を運び、素晴らしい作品を楽しみました。年齢を重ね、徐々に経済的理由や、身体的理由で行けない、行かないことが多くなってきました。そんな中、相模原ギャラリーでの鑑賞は、とても嬉しく、こんなに身近で楽しめるのならこれからは是非足を運んでみたいと思っています。以前から、相模原市に美術館などがもっと出来たらと思っています。それに伴って情報発信も専門に扱う部署ができれば、とも思います。相模原は、多くの緑に恵まれ、いくつもの湖の豊かな水に恵まれ、文化人、芸術家、著名人も多く、もっともっと発展できる伸びしろが沢山あると思います。市長さんにも、どうぞ長きにわたり市職員、市議の方々、地域の方々と共に相模原市の発展に更に更に御尽力下さるように、一市民ではありますがお願い致します。
75歳以上	無職	田名	文化芸術も基本は地域の自治会活動にあると思います。これからの自治会活動はどうあるべきか？要検討すべきでは。
40～49歳	パート アルバイト	東林	相模原市には芸術を学べる高校や大学がいくつかあります。この若者たちが自由に学べ、表現が出来る場を沢山作って欲しいです。
20～29歳	会社員 公務員 団体職員	中央	私は上溝に子供の頃から住んでいます。小さい時から上溝祭りはとても身近なもので、毎年たのしみなイベントのひとつでした。コロナで開催できない時は寂しいな、と思いました。7月に4年ぶりに開催された際もすごく嬉しかったです。しかし、お酒を飲んで酔っ払った男性が私の自宅の私有地に侵入し、それを注意した父がその男性に突き飛ばされるといふトラブルが発生し、警察沙汰になりました。4年ぶりでとても楽しみだったお祭りが、最悪な思い出になってしまいました。上溝の伝統的なお祭りがこのような形でどんどん崩れていくのは非常に残念だなと思います。

年代	職業	地域	意見
50～59歳	パート アルバイト	大野中	相模原市出身のアーティストや演奏家を育成するための奨学金制度や海外留学支援制度を創設し世界で活躍する若者が育つと市のPRにもなり活気付くと思います。
40～49歳	会社員 公務員 団体職員	大野南	南区にある、南合同庁舎を新しくして欲しい。
30～39歳	会社員 公務員 団体職員	藤野	文化芸術を広めたり楽しんだりすることは個人が自費もしくはやりたい人が資金を集めてやるべきであり、相模原市がやる必要はない。
60～64歳	会社員 公務員 団体職員	星が丘	歴史や有名な観光地がない本市にとっては、奇抜なアイデアも必要ではないか。若者の意見を広く受け止めていくべきと考えます。
40～49歳	自由業	大野南	相模原市の中央区に比べ、南区にはイベントを開催できるホールなどの施設が少ないように思います。南市民ホールの存続はもちろん、そのほかにも小ホールを備えた生涯学習センターやサロンなどのある施設があるといいなと常々思っています。
30～39歳	専業主婦 主夫	東林	昨年だと思いますが、隣の町田市が、ゆかりのある漫画家(浅野いにおさん)と小説家(カツセマサヒコさん)の対談やイベントをやっていました。そのような、若者に人気のサブカルチャーをもっと推してほしいです。相模原市出身の漫画家や小説家、舞台になっている作品はパツと思いきや浮かびませんが、町田市に負けたくないと思いました。(そのイベントは満員御礼でした)。
75歳以上	無職	東林	例えば、絵画、書画、音楽など文化部門で市在住で文化勲章、文化功労者を受賞された方には名誉市民とし、その功績を子どもたちに教えていく。文化への関心が高まると共に故郷の自慢にもなる。
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	大野南	小さな参加しやすいイベントだけではなく、市の芸術祭といった大々的な物を開催して、市の内外の人にアピールしても良いのでは。
40～49歳	会社員 公務員 団体職員	相武台	自分たちで考える気がないなら全て辞めた方が良いと思う。 振興する気がない人の集まりなんだなと感じた。
20～29歳	学生	大野南	クラシックギターアンサンブルをやっていて、グリーンホールの多目的ホールで演奏会をしたり練習室で練習したりしているが、学校だけでなく様々な音楽活動をしている団体が集まって演奏披露できる場があると、相模原市の他の人はこういうことやっているのかや、クラシックギターアンサンブルの魅力が伝わり、相模原市でより音楽が楽しめると思います
30～39歳	パート アルバイト	橋本	相模原市といえば〇〇!というのが思いつかない、正直にいうと政令指定都市だが全く目立たないし何かあるのかよく分からない中途半端な市というイメージがある。自分で住んでみてもそう思う。文化芸術についても市内になにかがあるのかよく分からない。まずは市内に住んでる人にどんなものがあるのか、具体的にアピールしてほしい。

年代	職業	地域	意見
30～39歳	パート アルバイト	相模湖	文化芸術とは具体的に何を指しているのですか？もとい何をやっているのか？質問が大雑把過ぎてどう答えて良いのか分からない。こういう文化がある。あーいう活動がある。など具体例が無いと答えようがない。そして興味云々、30年以上住んでるけど文化芸術について存在を全く知らない。 知る機会がないし調べられるだけの情報もない。せめて地域にチラシ撒くなり学校に張るなりした方が良いと思う。先ずは存在を知って貰うのが先。
50～59歳	その他	橋本	相模原市はスケートリンク、プール、博物館、水族館など文化施設はかなり充実している方だと思いますが、残念ながら公営の大きな美術館というものが無い。美術・デザイン関係に関わってきた身からすると、なんとも口惜しいところです。アリオ協のお座なりの美術施設もどきも既に無く、この都市は決定的に美術関連の文化が無いかのように感じられて仕方ありません。相模原市はぜひ美術館を持つべきだと思います。とは言え、高価な絵や時代錯誤の女性の裸像などを収集しても仕方ありませんし、特色も出ない。資金の問題も大きい。そこで基本的な資金は市の内外にある企業から集め、「産業デザインを主体とする美術館」としてはどうかと思います。デザインとは何も美しい造形物のみを指すものではありません。市内には多くの様々な企業が取り組んでいる機械部品や資材等があるはずで。私たちの暮らしを支えるそれらの物に込められた意味や価値、そして美しさを改めて評価して提示する事は大事です。たまに観に行く絵画や彫刻にだけ美術芸術的な価値があるのではなく、私たちの日常を形作る物にこそ人の創意が宿っている事を知って、初めてこの産業都市相模原に住む人たちにも誇りが生まれます。国内の公営美術館で他に類のないデザインミュージアムこそ、相模原市が目指すべき文化施設となり得るのでは無いでしょうか。相模原市ゆかりのものは常設展として、あとは国内外の企業から企画展を募れば良いと思います。場所はリニアモーターカーで着いたら直ぐに観に行けるところに産業文化都市相模原を象徴する美術館を持てれば理想的です。第一回の展示は開業に合わせリニアモーターカーに関する内容でも良い。欲を言えばデザイナーや技術者から「ここに自分が関わったものが収蔵されるのが一つの目標」と言われるようなニューヨーク近代美術館永久所蔵の日本版のようなところまで目指したい。良いキュレーターと、デザインの価値を理解したスタッフ、企業と大胆に駆け引きができる手腕を持つ責任者陣など、取り組みは難しい面が大きいとは思いますが。しかし他の都市の人から「相模原ってどこにあるんでしたっけ？」「何があるのですか？」「どこが中心街ですか？」という問いに答えようが無い現実。そして市民も「仕事があるから仕方なく住んでいる」と思わざるを得ないような愛着の持って行き場がない感覚。変えていければ素晴らしい未来に繋がる…と信じたいですね。
20～29歳	会社員 公務員 団体職員	大野中	大きなホールなど人が集まれる施設が多くあるので、クラシック、ジャズなど色々なジャンルのコンサートを開催して欲しい。市民がもっと気軽に音楽を演奏できたり、絵画などの芸術を展示出来るスペースがあると良い。
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	麻溝	相模原の文化芸術面をもっとアウトプットして行き、街全体のブランディングを行うと良い。伝統文化でも、現代文化でも、文化活動が盛んなイメージが欲しい。コンサートやフェスの様に、柔らかい文化活動も必要だと思う。
50～59歳	事業主	大沢	文化、芸術のソフトの部分には行政の旗振りが馴染まない面がありますが、劇場やホールなどのハードを充実させることで、プロから、アマチュアまで幅広い活動ができると思います。 市内には、大小様々な施設があり恵まれた環境にあると思いますので、維持管理を続けてほしいです。

年代	職業	地域	意見
30～39歳	会社員 公務員 団体職員	上溝	一時期、小学校で吹奏楽部の指導ボランティアをしていました。練習の際、場所を借りるのがとても大変だった覚えがあります。(優先的に借りてはいたと思いますが、借りれる体育館が少なく、他の団体と譲り合いが多かった。楽器を練習できる場所が少なく、小学校で吹奏楽部が市内に3つもあり、高校の吹奏楽部でも、上位大会に行く学校もあるし、市民吹奏楽もあるのだから、ホールなどを安く使えるなどできるようになると良いかと思えます。
50～59歳	専業主婦 主夫	大野中	相模湖に創作体験ができる施設を作って、公共交通機関でのアクセスを良くしたら魅力的だと思います。
40～49歳	パート アルバイト	中央	相模原市は住宅地のイメージが強すぎるので住む以外の考えが浮かばない何か興行をするにも「都内に行く」という選択しかないし、人が集まらないとも思う中央区以外は車がない人の足をどうするか考えた方がいいと思う
50～59歳	パート アルバイト	相模台	めざましい結果が出ていたり、受賞ありきの活動をしている方や団体のみならず、成果や結果があまりでなくても、継続している活動や新しい視点の活動なども、バックアップして欲しい。文化を支える基盤となることも多々あるので、大切にしていって欲しい。
70～74歳	無職	相模台	ここで言う文化財とはどのようなものかわかりませんので答えようがないです。自分達は公民館において高齢者向けの音楽活動しておりますが、会議室を使用にあたり、部屋代が高すぎる。(大会議室で2000円)年金生活者には負担が多すぎ。
60～64歳	専業主婦 主夫	大野中	今回のアンケート要請で相模原市の文化芸術について、初めて考えました。今まで接点の無い人にとっては何が相模原市の文化芸術なんだろう、と思うのではないのでしょうか。まず、これが相模原の文化芸術だ、という事を周知するのが良いのではないかと思います。
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	小山	大々的なイベントが少ないというか無い。市主体の全国規模のイベント。例えばダンス大会やEスポーツ大会等。
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	麻溝	行政が『政治的イデオロギー』を含んだ活動を『文化活動』などと称して後援することのないように。
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	城山	相模原市は神奈川県北部の拠点として位置づけられていますが、他の地域からの集客を考えるより、先ず地域の人が自身の地域に愛着を持ち、自ら参加するような風土を作ることが肝要と考えます。地元の良さを実感できるイベントを仕掛けて行くのが良いかと考えております。
75歳以上	専業主婦 主夫	大野南	相模原と言えばという代名詞になるような芸術の施設があれば良いですね。伊勢丹も無く、グリーンホールも相模原の施設でなくなり、市民の一人として寂しい限りです。学校の空き教室を文化活動に利用出来ないものか、提案です。
50～59歳	専業主婦 主夫	中央	文化芸術を子どもや若者にも親しまれる環境になれば、優しい心が育み、日本を誇りに思える人が増えると思います。
40～49歳	会社員 公務員 団体職員	小山	米軍補給廠返還地域の有効活用を求めます。近隣の交通渋滞緩和のために早急に動かないことは文化云々の前にセンスがないと思います。駅周辺の交通の便の悪さで相模原市内への就業はまず選択肢にありません。補給廠返還地周辺の道路整備、そして文化的活動に使える広場や施設、コンサート会場にすればたくさん人が集まると思います。

年代	職業	地域	意見
50～59歳	会社員 公務員 団体職員	大野中	自然が沢山あるのに放置状態で全く活かされていない。
40～49歳	会社員 公務員 団体職員	麻溝	伝統文化に縛られず、市の目玉となるような新たな文化芸術を生み出し、長い年月を掛けて育てて行くことも重要だと思います。
60～64歳	無職	相模台	歴史遺構などの情報発信やガイドツアーなどがあれば参加してみたい(炭鉱町で行っている炭鉱のガイドツアーなど参加して楽しかった)。
70～74歳	無職	中央	広報さがみはら等など特集していいお知らせを広めれば定着して文化と成ります。
20～29歳	学生	相武台	もちろん文化芸術に力を入れることは悪いことではないと思うけれども、そもそも相模原市はそういった面で力を持っているのか認識できてない。相模原市にはJAXAや自然の豊かさといった面では強さを持っているとされていてその強さを活用していった方が他の地域との差別化ができていいのではないかと思った。もし文化芸術をやっていききたいのであれば毎年1度やるような大きなイベントとか作って認知度を上げてほしいと思った。
70～74歳	無職	中央	広報、さがみはら等など特集でお知らせしたらいいと思う。
70～74歳	無職	上溝	私は現在、市民学芸員として登録して4年位経ちます。これから市の文化活動を振興するにはどうしても一般市民の協力が必要です。しかし、ここで問題なのは、同じ仲間でも単なる部屋代が無料のサークル活動的に参加している人たちとある程度義務感を感じて参加している人が混在していることです。いろいろな人が混在している生涯学習とはいっても特に博物館などではこの2者を峻別したほうが良いと私は考えるのですが、どうやら博物館側は前者に合わせて対応しているようです。以前(平成18年頃まで)は単なる展示協力ボランティアとして募集していたのが市民学芸員などと名前を変えたおかげで、単に労力を提供したい人は尻込みしてしまい、逆に意識高い系の人は一端登録はしても名称と活動内容との落差で早々に辞めていくような状態です。また4年間活動して感じることは、市民学芸員は年間通して様々な活動をしますから、当然その成果物があります。しかしどうもこの成果物の保存方法が確立していない気がします。全ては市民学芸員をその時担当している職員の裁量次第ということになります。1例を言えば、博物館に付属しているボランティア組織で水曜会というのがありました。そして水曜会のメンバーというのはかなりの人が市民学芸員と重複していました。この水曜会というのは昔津久井町と合併する時に向こうの資料館の資料を整理目録を作成するというので設立され既に数十年に渡り活動してきて、やっと今年目録が完成したのですが、博物館側はその保存をうやむやにしていまい、一担当者が論文に今後「利活用」として1行書いただけです。厚木などの博物館ではホームページに目録を公表しているのに私は水曜会のメンバーではありませんが、腹が立つことしきりです。
60～64歳	パート アルバイト	東林	定年した方、高齢者の力、時間のある主婦の力をもっと活用してはどうだろうか？大和市では講師になってもらうなどの取り組みがある。費用をかけなくても表彰状という評価だけで満足されるはず。ご本人の生きる力にもなるし、相模原市民同士の学びは身近になることで子どもも育つ。小規模なところから、大きな舞台を目指す人を育てていくと良いのではないのでしょうか。